

令和6年度使用小学校の教科用図書
研究委員会報告書

令和5年7月

教科

国語

種目

国語

令和6使用小学校教科用図書研究報告書

教科	国語	種目	国語						
発行者番号・略称				教科用図書番号					
2. 東書				1年	2年	3年	4年	5年	6年
				109	209	309	409	509	609
				110	210	310	410		

(1) 内容の特徴及び表現

- ①基礎基本の定着に向けて、身につけたい資質・能力を「言葉の力」としてわかりやすく明示している。「見通す」「取り組む」「振り返る」という三つの段階を通して、「言葉の力」の獲得を目指そうとしている。資質・能力については、巻頭でその学年で学習する資質・能力が「言葉の力を集めよう」としてまとめられており、巻末で前学年とのつながりが「言葉の力のつながり」として示されている。
- ②知識技能を習得するために、特に文法（児童がつまづきやすいものに配慮）と語彙について「言葉相談室」が設けられている。思考・判断・表現について、自分の考えをつくる手立てとして、各学年に「国語ノートの作り方」（板書を写すのではなく、自分や友だちの考えを書くこと）「デジタルノートの作り方」（思考ツールの紹介）を示している。
- ③日常生活に近い教材が多く使われ、児童が興味感心をもちやすい。そして学んだことをもとに自分の生活にいかしやすいため、主体的に学習に取り組むことができる。二次元コードをデジタル端末で読み取ると、学習内容に関連するデジタルコンテンツにアクセスすることができ、授業・家庭学習のあらゆる場面で、主体的かつ個別最適な学びをサポートできるように設定されている。
- ④学習指導要領「情報の扱い方に関する事項」を、「情報のとびら」として「関係」「整理」「調査」「論理」の視点から各学年3回（2年以上）示されている。導入漫画をはじめ、ポイントや練習問題が載っていて、工夫されている。さまざまな情報があふれる現代において、情報を選択・操作しながら意見文を書くことができるように設定されている。
- ⑤他教科とのつながりが意識されている構成になっており、玉野市の児童にとって、教育活動全体で言語能力の育成を育むことができる。
自分自身と比較して読むことを早い段階から経験させるつくりになっており、1年生から主体的に学習に取り組む姿勢づくりができる。「読むこと」でつかんだ力をその後の教材で、相手に話して伝えたり、書いて伝えたりする活動を多く取り入れているので、これからの生きる力となる「発信力」の育成が期待できる。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・欄外に学習の具体例や学習で使う言葉、何行目なのか分かりやすいように、点や数字、教材文に関連する図書を紹介するなど使いやすいものになっている。
- ・学習過程を見通すことができるように欄外に解説が書かれている。
- ・低・中・高学年ごとに、各領域で、4・5つの系統を定め、同じ順番に教材を配置している。そうすることで、学びを積み重ね、確実に力をつけていくことができると期待される。

(3) 総合所見

今後子どもたちに必要な、揺るぎない「言葉の力」の獲得を目指した内容となっている。特に、各単元でつけたい資質能力や、学習の流れの中で教材文が提示される構成から、本教科書では意図を強くもって編集されていることがうかがえる。また、自分自身と比較して読むことを早い段階から経験させるつくりになっており、1年生から主体的に学習に取り組む姿勢づくりができる。「読むこと」でつかんだ力をその後の教材で、相手に話して伝えたり、書いて伝えたりする活動を多く取り入れているので、これからの生きる力となる「発信力」の育成が期待できる。

その単元でつけたい力や学習の流れが明確に示されていることは、児童が見通しをもって主体的に学ぶことの助けとなるとともに、指導者が授業を組み立てる際の視点ともなることが期待できる。低・中・高学年ごとに、つけたい力をはっきりさせて、教材を配置している。そうすることで、系統立てて学習を積み上げていくことができると期待される。

令和6使用小学校教科用図書研究報告書

教科	国語	種目	国語						
発行者番号・略称				教科用図書番号					
17・教出				1年	2年	3年	4年	5年	6年
				111	211	311	411	511	611
				112	212	312	412	512	612

(1) 内容の特徴及び表現

- ①基礎基本の定着に向けて何を学ぶのか、どう学んだら良いのかが分かるような機能的な紙面づくりになっており、「ここがだいじ」という箇所に具体的に記載されている。また、絵や写真が豊富で、本文と繋げて考えやすいように工夫されている。
- ②知識技能を活用するために、巻末には「言葉の工具箱」というコーナーがあり、児童の「語彙」の自然な増加と実生活での定着に効果的である。また、児童が、自ら思考し、判断、表現するために、同じ題材で「話す聞く」学習から「書く」学習活動につなげることで、身につけた言葉の力を活用することが期待できる。
- ③主体的に学習に取り組むために、必要感のある課題に主体的に取り組むことで、他者と協働・協調して、変化の激しい時代を生き抜くための言葉の力を育んでいる。領域ごとにテーマカラーが決まっていて、児童にとって「何を学ぶのか」を視覚的に捉えることができるようにしている。
- ④「学びたい」という思いを支えるために、カリキュラムマネジメントへの対応やSDGs・ESDへの取組、人権上の配慮に対する工夫が見られる。また、同じ題材で「話す聞く」学習から「書く」学習活動につなげることで、身につけた言葉の力の育成が期待できる。
- ⑤玉野市の児童にとって、日本語と外国語の語順の違いが掲載されており、他教科との関連や中学校での学びにつながるように配慮されており、1年生から6年生まで、友達に伝える活動が多く、発信力を高めることに大変効果的である。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・清音から、濁音、半濁音、撥音へと、丁寧な文字学習の段階をふんでおり、児童の発達段階に合わせて、スモールステップで学んでいくように工夫されている。
- ・全学年上下巻の分冊になっており、新しい教科書に出会う喜びが一年に二回あったり、教科書が軽く自宅に持ち帰る時の負担を軽減したりしている。
- ・巻末の付録ページが多く、多様な教材に触れることができるようになっている。
- ・巻頭の各年生で学ぶことのページに各単元の目標が示してあり、分かりやすくなっている。
- ・該当学年以外も漢字で書かれており、主体的に語彙を増やすことができる。また、その漢字にはふりがながふられている。
- ・行間がしっかりとられており、書き込みやすくなっている。

(3) 総合所見

教材の主要な單元には、新たに「單元扉」というページを設けていて、学習の見通しをもたせようとしている。カリキュラムマネジメントへの対応やSDGsを取り上げるなど、今日的な課題に対応しており、主体的な学びを実現する構成である。「ひろがる読書の世界」という図書紹介のコーナーを夏休み前の学習時期に新設しているが、3年間を通しての系統性や説明がやや分かりにくく、指導する際に工夫が必要である。

1年生の早い段階からペアで相談をしたり、書いて表現したりする活動を多く取り入れることで「他者に伝える力」の育成が期待できるものになっている。

令和6使用小学校教科用図書研究報告書

教科	国語	種目	国語					
発行者番号・略称			教科用図書番号					
38・光村			1年	2年	3年	4年	5年	6年
			113	213	313	413	513	613
			114	214	314	414		

(1) 内容の特徴及び表現

- ①基礎基本の定着に向けて、その単元で身につけた力が「たいせつ」としてまとめられている。「つけたい資質・能力」について、児童がその学習を通して身についたかどうか振り返ることができる。そうすることで児童一人ひとりが学びを振り返り、また次の学習に活用しようという意欲にもつながる。
- ②知識技能を習得するために、特に語彙について「つたえあうためのことば」「ことばのたからばこ」として巻末に提示している。思考・判断・表現について、自分の考えをつくる手だてとして、巻末思考ツールが紹介されている。巻末であるため、いつでも参考にしやすいと感じる。
- ③児童が主体的に学習できるように、巻頭に「どうやって学んでいくのかな」として学び方が示されており、全領域で「問いをもとう」「ふりかえろう」の活動が示されている。また、読むことの単元では、教材文のあとに、「見通しをもとう」「学習課題（とらえよう・ふかめよう・まとめよう・ひろげよう）」「学習のポイント」「ふりかえろう」「たいせつ・いかそう」という学習の流れが示されている。各学年の初めに、一年間の学びの見通しをもって学びに向かうことができ、また、前学年に学習したことも記述されているため比較しながら学習に取り組むことができる。
- ④情報の扱い方について、各単元の学習活動と関連させながら、「情報」として各学年2回示されている。6年生「話し言葉と書き言葉」や「インターネットでニュースを読もう」では、デジタル機器で文字のやり取り（メールなど）する時に気を付けることや、ネットニュースの読み方など、時代に合わせた言葉の扱い方を取り上げており、時代に合わせた言葉の学習ができる。
- ⑤身近な仕事や、働く大人に目を向けるテーマや、SDGsに関連するテーマを幅広く取り上げていて、自分の現在や将来について考えたり、持続可能な社会の実現について考えたりすることができるようになっている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・学びの流れが視覚化されており、自ら問いを立てたり学習を進めたりしていく見通しをもつことができ、学び方がわかるように工夫されている。
- ・巻頭ページに今年で学ぶことが上段に、前学年で学んだことが下段に示されており、学びを積み重ねられる構成になっている。
- ・説明文では、1学期は、2教材で段階的に読み方を学習できるもの、2学期は、「書くこと」につながっているものなど、それぞれの領域において、学期ごとに、教材の提示方法や教材の種類などが、同じような構成になっている。そうすることで、前の学期や学年で学んだことを活用しながら、力を伸ばしていくことができるよう工夫されている。
- ・「読むこと」では、関連する図書が各単元の終わりだけでなく巻末にも示されており、読書の幅を広げやすい構成となっている。

(3) 総合所見

教科としての国語の学び方や、それぞれの単元・教材の学び方が、分かりやすく示されている。さらに、学び方の流れが、全学年でほぼ統一されていて、児童が見通しをもって、段階的に力を伸ばしていくことが期待される構成になっている。また、学び方の流れやポイントは示されているものの、児童の実態に合わせて単元を構想することも可能な範囲になっていて、児童が自ら問いを立て、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。

作品の「よさ」にふれることが大切にされていること、教材に関連する図書が多く示されていることなど、将来の「読書人」の育成が期待できる。

ただ、学習の幅の想定は学び方のあいまいさにもつながるので、デジタルコンテンツの少なさもあわせて考えると、児童の個別最適な学びについて、指導に工夫が必要である。

教科

国語

種目

書写

令和6 使用小学校教科用図書研究報告書

教科 国語	種目 書写						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
2・東書		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		106	206	306	406	506	606

(1) 内容の特徴及び表現

- ①基礎基本の定着に向けて、かきかたで大切にしている「とめ」「はね」「はらい」等を「ぴたっ」「ぴょん」「すうっ」と合言葉のような記述がされており、高学年でも使えるわかりやすい言葉として統一した工夫がなさされている。
- ②書写の学びを生活に広げたり、学びに生かしたりする教材がどの学年にも設定されており、書写の学びを生活に生かすことができる。
- ③児童が、主体的に学習に取り組むために、二次元コードがどの学年にも用意されているので、手順や動きがよく分かり、何度でも動画を再生し確認することができる。
- ④情報活用能力の育成につなげられるよう、写真やイラストが文字の説明と一緒に配置されていて、視覚から得た情報を行動につなげやすい。
- ⑤玉野市の児童が意欲的に学ぶ仕組みがどのページにもある。写真やイラスト、二次元コード以外にも、クイズ形式のページや、5年生なら世界の文字のページ、6年生では日本の文字の歴史と他教科と関連する配置等楽しんで学習できる工夫が随所にある。国語や英語等関連マークがありわかりやすい。書き込み欄が小さすぎず直接書きやすい大きさとなっている。

構成・配列及び分量、使用上の便宜

- ・全体の分量は適切であり、3年生以上では硬筆と毛筆の両方を学習できるようになっている。
- ・各学年、書写の学びが示されている。特に3年生以上では、表紙裏にある系統性が見てすぐ分かるように配置されている。
- ・手書き文字に近いフォントを使っているので分かりやすい。
- ・左利きへの配慮があり、写真付きのため分かりやすい。
- ・めあてにそった、ふりかえりチェックが、できるようになっている。
- ・各学年に応じて、平仮名・片仮名・ローマ字表や学年の漢字、水書用紙等資料が充実している。

(3) 総合所見

全ての学年の表紙がよい。明るく楽しく動物が書写をしている様子がユーモラスである。お手本となる字が手書きに似たフォントをつかっているため、児童はまねをしやすい。全学年合わせて151の二次元コードが豊富に用意されている。クイズ形式や、写真やイラストが豊富であり児童の興味を引く構成となっている。「書写のかぎ」として大事なポイントがあり分かりやすい。「学びを生かそう」と手紙を書く練習をして、国語科や生活科に繋げたり、「生活に広げよう」とリーフレット作りをしたりと、書写の学びと実際の生活とつなげる工夫がある。

令和6使用小学校教科用図書研究報告書

教科 国語	種目 書写						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
17・教出		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		107	207	307	407	507	607

(1) 内容の特徴及び表現

- ①基礎基本の定着に向けて、書く姿勢や筆記具の使い方の指導についての記述が全学年、巻頭に示されている。写真に重要なポイントやキーワードを入れるなどの工夫がなされている。
- ②知識技能を活用するために、第2・4学年では、話し合う時など、書写で使う言葉が一覧に示している。第5学年の巻頭には、運筆を撮影し合って、書き方を確かめる方法が紹介されており、話し合う手立てに効果的である。また、児童が、自ら思考し、判断、表現するために、タブレット端末の使用を促す工夫が随所にみられ、児童同士の学び合いを深める効果が期待できる。
- ③児童が、主体的に学習に取り組むために、自分のめあてに合わせた練習をするために、練習用紙の作り方が掲載されている。動画・ワークシート・資料のある単元には、全学年二次元コードが示されている。
- ④目的に合った書く速さや読み手を意識した書き方等が取り上げられていることで、学習した書き方を各教科や普段の生活で生かして表現する力を伸ばすことが期待できる。
- ⑤学習活動の流れや姿勢、筆記具の使い方等、写真を用いながら説明している。さらに、随所に ある二次元コードを読み取ることで、動画を見ることができる。こういった視覚的支援を用いた 教科書は授業のUD化を進めている玉野市にとって、有意義なものであると思われる。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・第2学年以降は、学習の進め方が統一されており、どの単元でも同じ学習活動を踏むことができるように構成されている。
- ・第1・2学年は、3～4単元、第3～5学年は、8～9単元、第6学年は、6単元で構成させている。各学年の国語の配当時数から考えると、全体の分量が適切であり、学習内容がバランスよく 各単元に配分されている。
- ・全学年の裏表紙には、鉛筆の使い方が写真入りで掲載されている。また、二次元コードがいろいろな場面において配置されており、児童自ら学習を進める手助けに成り得る。

(3) 総合所見

全体的に写真や動画（二次元コード）が多く使用されているように思われる。特に、毛筆の課題文字については、必ず動画での説明があることが児童にとっては、安心材料になるように思われる。児童の学びを確実にするためには、動画での解説は効果的である。

しかし、1ページの中に情報量が多く、児童にとっては負担を感じることも考えられる。また、漢字や片仮名、平仮名などの文字を書く方法が詳しく説明されているが、基礎基本の確実な定着を図るためには、練習問題の内容に改善の余地が見られると思われる。

令和6使用小学校教科用図書研究報告書

教科 国語	種目 書写						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
38・光村		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		108	208	308	408	508	608

(1) 内容の特徴及び表現

- ①基礎基本の定着に向けて、各時間での学習のねらい・ポイントが簡潔に明示されており、イラストや写真を効果的に使うことで、姿勢・筆記具の持ち方、点画のつながりや一文字の書き方が、分かりやすく示されている。
- ②知識技能を活用するために、「書写を広げたい」コーナーが設定されている。日常生活や他教科の学習課題において、書写の学びを生かすための具体的な例示があり、培ってきた知識技能を試す機会として効果的である。
- ③児童が、主体的に学習に取り組むために、キャラクターを効果的に使って学びのポイントを押さえるページを設けたり、日常生活へ書写を広げる活動を設定したりすることで、見通しと興味関心をもって、学習に取り組むことができるように工夫がされている。
- ④情報活用能力の育成につなげられるよう、巻頭に学習用端末活用に関する記述があり、どの学習課題にも二次元コードが添付され、写真・動画・アニメーションなど課題に応じた資料が用意されている。
- ⑤玉野市の児童にとって、学校生活を豊かにするために、書写での学びを生かす具体的場面を設定しているページがあり、書写の活動を主体的に取り組むために、大変効果的な工夫がされている。例として5年生では「6年生を送る会に向けて」6年生では「今の思いを書き残そう」など、自らの課題に応じて、技能を選択して書写の学びを生かすことのできるように工夫がされている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・どのページも写真やイラストを効果的に使い、分量を精選することで、見通しがもちやすく、前向きに取り組めるような構成・配列になっている。
- ・全6学年、表紙や挿絵のイラストにも統一性があり、学習を進める上で、有効な手立てになっている。
- ・第1・2学年の巻末には水書用紙、第4学年には「SDGsブック」、第6学年には「書写ブック」が付属されている。裏表紙には第1学年は50音図、第2学年は鉛筆の持ち方、第3～6学年は「SDGs×書写」が掲載されている。

(3) 総合所見

児童も教師も、様々な面で見通しがもちやすい教科書となっている。紙面の構造化や文章表現上も、色覚特性への配慮を行うデザインになっており、児童全員が学びやすくなるようなUDを実現した教科書である。また、二次元コードから読み取るだけで、書く力を醸成するための資料が計363点と豊富に用意されており、多くの情報量を、児童が手にすることができるようになってきている。そして、学びを日常に広げるための工夫も、各学年の発達に応じて適宜設定されており、令和の日本型教育に必要な手立てが、備えられた教科書であると言える。

教科

社会

種目

社会

令和6年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科	社会	種目	社会				
発行者番号・略称		教科用図書番号					
2・東書		1年	2年	3年	4年	5年	6年
				305	405	505 506	605 606

(1) 内容の特徴及び表現

- ①基礎・基本の定着に向けて、各ページに「ことば」が提示されており、時間ごとに必ず確認しておきたいキーワードが示されている。「まとめ」には、単元のキーワードが一括して示されており、その用語を使ってまとめられるように工夫がされている。
- ②知識技能を活用するために、「まなび方コーナー」が設けられ、地球儀やグラフ、図、年表の読み取り方など社会科の学習のために大切な知識や技能が身に付けられるような工夫がされている。また、学習したことを生かして「図」や「表」、「新聞」などに自分の考えを表現する活動に取り組める工夫がされている。さらに、「ひろげる」「いかす」では、「まとめ」で考えたことをもとにさらに新たな課題について考えを広げられるようになっており、思考力の育成に効果が期待できる。
- ③児童が主体的に学習に取り組むために、「つかむ」ではデジタルコンテンツとして単元で学習する内容について独自に作成された動画が読み込める二次元コードや、「まとめる」「いかす」では教科書に示されたワークシートの原本が入手できるようになっている。また、「つかむ」では児童の身近な事象から課題解決に繋げられる内容、「まとめ」では学年の発達段階に合わせたまとめ方が例示されている。
- ④3年生から棒グラフやカレンダーなどの資料が示され、社会科で必要な資料の読み取り、活用ができるような力が付けられるようになっている。また、ドラえもんキャラクターが社会科の見方・考え方を簡潔な言葉で問いかけることで、視点をもって調べたり考えたりできる工夫がされており、社会科の「位置や広がり」「時間」「関わり」「比較・分類・関連付け」といった力の育成が期待できる。
- ⑤4年生「ごみのゆくえ」の学習では、玉野市に隣接する岡山市が取り上げられており、より身近なこととして学習に向かうことが期待できる。県内でも相違点などが見つけやすく、郷土により深い興味を持てる。5年生「水産業」の学習では、隣接した香川県のオリーブハマチについての記述もある。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・全単元が「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」「ひろげる」の流れになっており、同じ進め方で学習が進んでいくことで児童が見通しをもって学習できる。
- ・社会科が始まる3年生では、生活科からの流れを組んで1つめの単元がスタートしていき、徐々に社会科の学習の進め方に慣れていくような構成になっている。
- ・5・6年生の教科書は二巻に分かれており、教科書が分厚くなっていく高学年にとってはランドセルの重さや机に入る分量などを考えると良い。
- ・端的に必要なことが学べる内容になっている。また、文字や資料が大きく掲載されていることや考えたことを教科書に書き込めるページも設けられている。
- ・他教科との関連がマークで示され、教科横断的に学習に取り組める工夫がある。

(3) 総合所見

全体の分量が適切であり、学習内容がバランスよく各単元に配分されている。資料の読み取り、活用の力が身に付くように棒グラフや円グラフなどが示され、その読み取り方についても「まなび方コーナー」で詳しく説明がされている。児童にとって分かりやすい言葉や絵、図で社会科の学習に取り組めるものとなっている。単元の導入時に児童の関心を高める独自のデジタルコンテンツがあり、学習意欲を高める工夫が随所に散りばめられている。さらに、教科横断的に学習に取り組める工夫もある。

令和6年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科 社会	種目 社会						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
17・教出		1年	2年	3年	4年	5年	6年
				307	407	507	607

(1) 内容の特徴及び表現

- ①基礎・基本の定着のために、「つかむ」「調べる」「まとめる」の各場面で「キーワード」がピックアップされており、高学年の教科書では、5・6年生で学習する基礎的な用語には簡単な解説がついている。
- ②知識・技能の活用のために、各学年の巻頭に、「前の学年をふり返ろう」のコーナーがあり、既習事項と当該学年の学習内容を、関連・比較して考えられるようになっている。また、見開きページのどの資料とどの資料を関連付ければよいか示されている。全学年の全単元「つかむ」「調べる」「まとめる」（「つなげる」）の構成になっており、「課題設定」「自力解決」「振り返り」という思考の流れで学習に取り組めるようになっている。学習内容を表現する方法も「ポスター」「関係図」「表」「チャート図」「グラフ」等、多様である。
- ③「学びのてびき」で、中学年では資料を読むポイントやまとめ方、高学年では「多面的な視点」「学習計画の立て方」など「学び方」を学べるようになっており、主体的に学習する力につながることを期待される。
- ④どの学年も、巻頭に学習用端末の活用方法が示されており、「検索」「記録」「情報の共有」「表現・伝達」「画面への書き込み」など、状況に応じた使い方を提案している。また、他教科とのつながりも書かれており、横断的な学びが意識されている。中学年では、具体的な学習活動が示されており、高学年に向けて、課題解決型の学び方を意識付けるための工夫がされている。
- ⑤岡山県のことをまとめて取り扱った単元はないが、4年生では瀬戸内国際芸術祭、5年生では水島のコンビナートの写真と西粟倉村が環境モデル都市であること、6年生では渋染一揆が取り上げられており、郷土の多面的な姿に触れられる。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・どの学年も、写真や図版が大きく、ゆとりを持ったレイアウトになっており見やすい。その分、全体の分量は多くなっているため、厚みや重みを感じる。
- ・6年生では、歴史的な写真のカラー化、大きな見開きを用いて一覧できる年表など視覚的な工夫がある。
- ・二次元コードを読み込んで学びを広げる「まなびリンク」は、「動画」「ワークシート」「ウェブサイト」「読み物」「クイズ」「資料のヒント」と幅広い内容になっており、学習用端末の活用を大きく意識していることがわかる。
- ・学びをナビゲートする役割の「児童キャラクター」に、外国人と思われる名前や姿の子供、車椅子の子供がいたり、パラリンピックについて大きく取り上げていたり、「多様性」を意識した構成であると感じる。

(3) 総合所見

学習用端末の活用を意識した学び方の提示や、「多様性」を意識した部分等、現代的な課題を考えた教科書となっている。また、発達段階に応じた学び方が考慮された学習活動や学習の流れが示されており、自らの学び方を考えて課題解決しながら学習できる、縦断的な構成になっている。図版の大きさやレイアウト等、視覚的に工夫された構成になっているが、その分、ページ数、厚み、重さ等との兼ね合いには工夫が必要であると感じられる。まとめて岡山県を取り上げている教材がないため、自分たちの身の回りのまちや、郷土について中心的に学ぶ3・4年生の学習では、副読本とのバランスを考慮しながら学習を進めていく必要がある。

令和6年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科	社会	種目	社会				
発行者番号・略称		教科用図書番号					
116・日文		1年	2年	3年	4年	5年	6年
				308	408	508	608

(1) 内容の特徴及び表現

- ①学習内容の定着につながるホームページにアクセスできるよう「教科書デジタルコンテンツ」が設定されている。デジタルコンテンツには、説明動画等があり、視覚的により理解しやすい工夫がなされている。
- ②知識・技能を活用するために、学習の振り返りやまとめとして、「表現する」が設定されており、表現する方法の具体例が多く挙げられている。（関係図のつくり方、ワークシートの書き方、意見の整理のしかた、デジタル新聞のつくり方 等）
- ③児童が主体的に学習に取り組むために、巻頭に教科書の使い方が詳しく示されている。また、「学び方・調べ方コーナー」を随所に設け、学び方・調べ方、表現のしかたなどを分かりやすくまとめている。各学年で「深め合い」の進め方が設けられており、主体的・対話的で深い学びにつながるよう工夫されている。
「やってみよう」のコーナーが設けられており、補充・発展的な学習につながるように思考ツールやゲーム等が掲載されている。
- ④情報の集め方や活用方法について「見る・調べる」が設定されている。資料やグラフなどの情報と、現代的な課題が関連付けて考えられるように必ずSDGsの視点が示されている。
- ⑤岡山県の事例が多く取り入れられ、児童にとって身近なものとして学習できるように工夫されている。また、学習する地域が偏らないよう配慮されている。各学年でSDGsが取り上げられ、今日的課題について考えるきっかけとなっている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・児童にとってわかりにくい言葉や重要語句は「キーワード」として解説が設けられている。
- ・写真や図の色調や色の組み合わせに工夫があり読み取りやすい。
- ・文字が大きく読み取りやすいフォント（UDフォント）である。
- ・巻末のさくいんにおいて、教科書に出てきたおもな地名が地図で示されており、位置関係を確認できる工夫がされている。
- ・見開き2ページで1単位時間の学習ができるように構成されている。
- ・「問題を発見する力を身につけよう」「問題を追究・解決する力を身につけよう」「問題をほりさげ、よりよい未来をつくる力を身につけよう」という学習の進め方で構成されている。

(3) 総合所見

キーワードをおさえたり、デジタルコンテンツを活用したりすることによって、基礎・基本の定着を図るとともに、補充・発展的な学習にもつながる構成となっている。また、調べ方、表現のしかたなどが分かりやすくまとめられ「主体的・対話的で深い学び」につながる工夫がなされている。

岡山県の事例が多く取り入れられ、児童にとって身近なものとして学習できるように工夫されている。また、各学年でSDGsを取り上げており、今日的な課題について考える機会を設けるなど、大変多くの内容が盛り込まれているため、指導内容を選択するなどの配慮が必要である。

レイアウトが工夫されており、地図やグラフ等もコントラストがはっきりしていて分かりやすい。また、文字が大きく読み取りやすいフォントである。

教科

社会

種目

地図

令和6使用小学校教科用図書研究報告書

教科 社会	種目 地図						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
2・東書		1年	2年	3年	4年	5年	6年
				303	303	303	303

(1) 内容の特徴及び表現

- ①基礎基本の定着に向けて、表紙裏見開きに世界地図、その裏に日本地図が、それぞれの国「ありがとう」の言葉や民族衣装、それぞれの県の特産品や名所とともに掲載されており、児童が興味をもてる工夫がされている。P7～14では、地図の基本的な考え方、方位、地図記号、縮尺の仕組み等が取り上げられ、日本地図、世界地図の全ページには、縮尺がものさしのイラストで示されているところも大きさを実感しやすい工夫がされている。
- ②知識技能を活用するために、「ホップ ステップ マップでジャンプ」というコーナーが設けられており、☆で表したレベルごとに産業や自然など様々な視点から学習を深める学習課題が掲載されている。
- ③主体的に学習に取り組むために、解説部分にキャラクターの吹き出しによる解説がなされ、大切なポイントや学習課題などが示される工夫がされており、児童が主体的に学習に取り組む効果が期待できる。また、巻末で「日本の自然災害」というコーナーが設けられ、2000年以降の自然災害の種類と場所が日本地図上に示されている。ハザードマップの読み方と学習課題が取り上げられ、実生活にいかされる工夫がされている。
- ④情報活用能力の育成については、学びを広げる様々なデジタルコンテンツが活用できるよう、二次元コードが示されており、児童が情報機器を活用しながら学びを進める効果が期待できる。
- ⑤玉野市の児童にとって、自分たちの住む岡山県が、P25～28「中国地方」「四国地方」の地図で瀬戸内海を中心にページ中央部に掲載され、地理的な位置を理解しやすい効果が期待できる。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・全体の分量は中学年にとっては適切であり、文字ばかりではなく、イラストや写真、キャラクターの解説があり、児童にとって見やすく、興味をもてる内容となっている。
- ・目次については、表紙裏に配置され、分かりやすい。文頭に色分けされたマークが付けられ、日本についてのページか世界についてのページか見るだけで分かるようになっている。
- ・索引についてもページ番号とともに記号が詳細に記載され、地名を探すときに便利である。
- ・ページ構成については、「地図の使い方」「広く見わたす地図」「地方」「世界」「資料地図・統計表」に分けられ、分かりやすい構成となっている。
- ・見やすい反面、一つ一つの割り付けが大きく、少し無駄なスペースが見られ、工夫が必要な箇所がある。

(3) 総合所見

イラストや写真がカラフルなものとなっており、児童の興味・関心を引くものとなっている。イラストのキャラクターによる解説や学習課題が示され、児童が主体的に学びたいと思える構成となっている。中学年にとっては、社会科の学習の補助教材として十分に活用できる紙面・構成となっている。二次元コードが紙面の随所に示され、児童が情報活用能力を活用し、学びを広げていける工夫もされている。分かりやすく見やすい反面、総ページ数が比較的少なく、社会科を初めて履修する3年生にとっては、分かりやすい内容・構成、見やすいデザインとなっている。

6年生にとっては社会科の補助教材としてより活用するため、もう少し専門的な内容が掲載され、適当な分量があれば、さらに教材として適当なものになる。

令和6使用小学校教科用図書研究報告書

教科 社会	種目 地図						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
46・帝国		1年	2年	3年	4年	5年	6年
				304	304	304	304

(1) 内容の特徴及び表現

- ①基礎基本の定着に向けて、P7～20に「地図とは」「地図のやくそく」「地図帳の使い方」が記載されており、日本と世界についてそれぞれ地方別に分けて掲載する工夫がされている。
- ②知識技能を活用するために、P33～80にかけてそれぞれの地域で盛んな産業、歴史（昔と現在の比較）、観光地や名物等が掲載されており、調べ学習等に効果的である。また、児童が自ら思考して判断、表現するために、P103～114にかけてグラフや統計表が掲載されていて、探究心を向上させる効果が期待できる。
- ③児童が、主体的に学習に取り組むために、地図にイラストや吹き出しが掲載されているページを設けたり、二次元コード（P33等）でコンテンツメニューを見ることができるよう工夫がされていたりする。
- ④世界地図の外国の国名にはアルファベットのルビが付いており（P1～3）、国際理解力の育成が期待できる。
- ⑤玉野市の児童にとって、「瀬戸内海周辺」の地図で玉野市に造船のイラストが掲載されることで（P40）、わが町が造船業の町であることを一目で認識することが期待できる。6年生の修学旅行で訪れる京都や奈良について、その見どころがイラストで詳細に記されているので（P53～54）、事前学習に有効に活用できる。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・簡易の日本地図・世界地図、詳細の日本地図と世界地図がそれぞれ掲載されており、3年生から6年生までの発達段階に応じて活用できる構成になっている。
- ・20～30年前と比べるとページ数が増えて重くなっているが、その分内容は充実しており、いろいろなことに活用できるようになっている。
- ・ページの構成が、3年、4年、5年、6年と学年を追って掲載されているので、段階的に見ることができ使いやすい。
- ・巻末の索引に、ページ番号と記号・番号が詳細に記載されており、地名を探すときにたいへん便利である。
- ・全体的に大変見やすい紙面で作られていて良い。

(3) 総合所見

まず、表紙のイラストやカラーが、児童の興味・関心を引くものとなっている。紙面全体も印刷が明るくて見やすい。3年生から6年生までが、授業や個人での調べ学習において、発達段階に応じて活用できる紙面・構成となっている。特に、産業、観光、歴史などについて、見るだけで分かり知識を獲得できるようになっている。最近問題となっている自然災害について、2018年の西日本豪雨のことや今後の課題や備えについての記述もある。わが町玉野はもちろん、岡山県の特徴も一目でわかり、他の都道府県と比較できるようにもなっているところが良い。玉野が造船の盛んな町であることを知ることは、造船を通じて日本のみならず、世界の国々と結びついていることを知ることができる。国際化社会に生きる子どもに合うものになっている。

教科

算数

種目

算数

令和6使用小学校教科用図書研究報告書

教科 算数	種目 算数						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
2・東書		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		1 1 2	2 1 2	3 1 2	4 1 2	5 1 2	6 1 2
		1 1 3	2 1 3	3 1 3	4 1 3	5 1 3	

(1) 内容の特徴及び表現

- ① レジネス問題、練習問題がデジタル版でも掲載されており、タブレット端末で授業や家庭学習などで活用することで、繰り返し取り組むことができ、基礎基本の定着に役立てることができる。各時間の学習のまとめの後に理解を深める補充問題が、単元の巻末にはその単元の復習問題が、二次元コードを活用し、自己採点可能で反復練習できる形で設けられている。
- ② 要所、要所でノート書き方まとめ方を紹介する、ページがあり、思考し、表現するときに生かせるまとめ方や書き方が示されている。協働的な学びによる練り上げの過程では、自分の考えを他者の考えとの比較・検討に主眼をおいている。多様な考えに触れることで、自分の考えをより最適なものに変容させることがねらわれている。
- ③ 第2学年以上の巻末には、補充的・発展的問題が設けられている。「算数で読みとこう」「考える力をのばそう!」では、学習したことを生かし日常生活に関わる問題が取り上げられている。他教科や中学数学と関連がある箇所にはマークが示されている。第2学年以上の「つないでいこう算数の目」では、単元の学習で大切にしたい見方・考え方を振り返り、次の学習に活かすことができるようになっている。
- ④ 第2学年以上の「学びのとびら」では、問題解決の過程や大切なことが紹介されている。第3学年以上では、SDGsの観点から課題を提示して、表やグラフから課題解決する教材が設定されている。
- ⑤ 日本と外国の都市の気温を比べて表に表す活動が設定されていたり、円周率を求めた外国の数学者が紹介されたりしている。第4学年以上の巻頭の「私と算数」では、世界レベルで活躍する著名人と算数の関わりについて知ることができ、算数の学習への意欲を高めることができるようになっている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・ 第1学年には、入門期用として「はじめようさんすう」があり、A4判の中綴じの書き込みができるものになっている。第6学年の巻末には、「卒業旅行」として算数のいろいろな世界に触れることができるコースが4つ設定されている。
- ・ 単元導入場面では、前学年や前単元での既習事項とのつながりを意識した構成となっている。既習事項を想起させたり、定着を図ったりしながら導入を展開できる。
- ・ ページ表示が上部に記載されており、一般的な教科書との違いから、扱いにくいと思われる。
- ・ 授業1単位時間の区切りが曖昧で、1ページ1時間という紙面構成になっていないところが多く、授業5を意識した1時間の学習サイクルでの授業デザインがしにくいと思われる。
- ・ 第2学年「100より大きい数をしらべよう」では、導入での100の表し方を数え棒ではなく、数図ブロックをタイル状に敷き詰めて表されており、児童にとって数の量感が捉えにくい。

(3) 総合所見

既習とのつながりが大切にされ、各練習問題で自己採点、反復練習できるデジタル教材を活用することで「基礎基本の定着」が期待される。また、思考→判断→表現をつなぐためのノートのまとめ方が掲載され、これらは学び合いの際にも活用することができる。日常生活と算数や身近な著名人と算数との関わりから算数への興味・関心が惹かれる内容が取り上げられていたり、SDGsの観点から算数の課題として取り上げられたりと工夫が見られる。一方で1単位授業の区切りが明確でない構成となっており、1時間の学習サイクルがイメージしにくい。また、教科書の扱いにくさや学習教材や学習問題として扱う事例の点で課題が見受けられる。

令和6使用小学校教科用図書研究報告書

教科 算数	種目 算数						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
4・大日本		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		1 1 4	2 1 4	3 1 4	4 1 4	5 1 4	6 1 4
		1 1 5					

(1) 内容の特徴及び表現

- ①単元の終末には、「たしかめ問題」や「学んだことを生かそう」が設けられている。単元で学習する大切な語句などは太文字になっている。1単位時間の中でも、単元の中でも練習問題が多めに設けられている。巻末には、各単元の適用問題に対応した補充問題「プラス・ワン」があり、個人差に配慮した問題の配列となっている。
- ②「思考・判断・表現」に重点をおき、算数科で大切にしたい考え方の例示が冒頭で紹介されている。さらに単元の該当ページで思考の手立てがガイドされているので、解決の見通しをもって課題解決ができるように工夫されている。2学年以降の巻末に、児童に意識させたい数学的な見方・考え方を「算数の大切な考え方」としてまとめている。第5学年「割合」で、勝率を比べる場面を導入に扱っている。難解な単元であるため、児童にとってより身近な題材を課題とする方が、課題と捉えやすいと思われる。
- ③第5・6学年の巻末には、中学算数で学習する内容が紹介されている。主体的に学習に取り組めるように、実生活から課題を見付けたり、実生活に生かしたりするようなページが多く設けられている。
- ④全学年でプログラミングにふれる活動が設けられている。巻頭の「算数の学び方」には、学習の流れや聞き方、話し方、話し合い方の例が紹介されている。各学年、「読み取る力をのぼそう」のページを設け、情報を読み取る力や根拠を説明する力の育成を図っている。
- ⑤算数に関する仕事のインタビューや、算数が活用されている事例、SDGsとの関連、他教科と関連した事例が紹介されており、算数の学習が仕事や日常生活、他の教科の学習につながっていることを意識付ける工夫がなされている。登場する人物も今日の学校の実態に沿って、外国籍の人物を登場させている。また、我が国の伝統的な遊びや歴史的建造物などが紹介されている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・単元の導入場面をアニメーションで提示することができ、実生活場面を取り上げて単元に出会わせるなど、課題をつかむ際に有効であると考えられる。
- ・「問題をつかむ、自力解決、学び合い、まとめ」など、授業の展開が示されているので、見通しをもって学習に参加できると思われる。
- ・巻頭目次では、前学年と次学年に関わる単元が示されており、系統的な指導が意識しやすい掲載となっている。
- ・2年生から6年生まで分冊がなく1冊の構成になっているので学習の繋がりを意識しやすいが、厚みがあるため、下学年の児童には扱いにくいと思われる。
- ・写真を多く使い、現実場面での様子を捉えられるように工夫してあるが、紙面に写真、図、文字など情報量が多いページが見られ、学習の中心を掴みにくいページもある。

(3) 総合所見

既習を用いての考え方、多様な考えや学び合いの仕方の掲載など「思考力・判断力・表現力」の育成に重点をおいた構成が随所に見られる。単元の終末には、学習内容を確認したり復習したりする問題が多く設けられており、各単元の中での基礎基本の習得に有効であると思われる。また、実生活や国際社会、日本の伝統文化に目を向けた題材を取り入れ、算数の魅力や有用性が実感できる内容となっている。一方で、1年生以外は、合冊で厚みがあり下学年には扱いにくかったり、情報量が多く、学習の中心を掴みにくいページがあったりと、学習を進めるにあたって、すべての児童が的確に課題を掴みながら学習を進めていくことが難しいと考える。

令和6使用小学校教科用図書研究報告書

教科 算数	種目 算数						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
11・学図		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		116	216	316	416	516	616
		117	217	317	417	517	617

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 2学年以上の学習始めには、「前学年で見つけた考え方モンスターをふりかえろう」でキャラクターを用いて、前学年で学んだ見方・考え方を繰り返す場面が設定されており、既習学習の振り返りが容易にできるよう配慮されている。単元の終末の「できるようになったこと」「まなびをいかそう」では、学習内容の確認ができるような練習問題が設けられている。また、2学年以上の単元末には、学習を振り返ることができる「考え方モンスターでふりかえろう」が設けられている。
- ② 自ら思考し、判断、表現するために、問題解決の場面において活用できる考え方が例示されているので、それを参考に自分の考えをもちやすくする工夫がされている。めあてとまとめのページが複数ページに跨っていたり、ページの途中からめあてとまとめが書かれていたり児童が1時間毎の学習内容をつかみにくいところがある。
- ③ 児童が主体的に取り組むために、全てのめあての部分に、「考えたいな」「知りたいな」など児童が問題から思う「まなびのつぶやき」の様な言葉を記載し、学びの方向性を工夫して示している。全学年の巻末には、補充問題と発展問題に取り組める「もっと算数」が設けられ、児童が主体的に問題演習に取り組めるように工夫されている。また、第6学年には別冊がついており、復習問題と共に中学校数学への入門問題、発展問題が掲載され、中学校への接続にも配慮されている。
- ④ 全学年にSDGsの観点をもとに、現代社会の問題を学習課題に取り上げ、「算数をつかって」というコラムで計算と共に社会問題について考える学習への配慮がされており、学びを生かすことができる。全学年プログラミングの特設ページが設けられている。また、5・6年ではデータを活用して考える特設ページが設けられており、データから傾向を読み取ったり、データを活用して問題を解決する経験したりすることができるようになっている。
- ⑤ 世界遺産のことや世界の国々の人口など、グローバルな視点の問題が学年ごとにつか取り上げられている。岡山県の醍醐桜も掲載されていた。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・各ページの左側に時間軸があり、そこに「？」や「！」などの記号や小タイトルをのせ、思考の流れを示す工夫がされている。
- ・教科書は、AB版で横幅が広い形になっており、大きな字で示され、見やすい構成となっている。
- ・ブロックで数を表す場面設定が多く、百を表すような大きな数のブロックの表示が小さくまた細かいため、児童にとって数を把握することが難しい。
- ・前学年の見方・考え方のまとめと次学年最初でふりかえる見方・考え方の記載が繋がっていると、より児童が学びやすいものとなると考えられる。

(3) 総合所見

全体を通して各単元の始めは「？」の疑問から始まり、児童の思考の流れに沿った形で学習が進められ、その中で様々な考え方に触れられるように配慮されている。また各所に二次元コードがあり、デジタルコンテンツの利用も可能となっているので、児童が学習用端末を利用して、学校や家庭において学習を深めたり、ふり返ったりすることができる。一方で、考え方をブロックで表す場面設定が多く、百を表すような大きな数のブロックの表示が小さくまた細かいため、児童にとって数を把握することが難しい。また、前学年で学んだ見方・考え方のまとめページと次学年始めで振り返る既習の見方・考え方を振り返るページに共通部分が少なく、学年間の繋がりが少し薄いように感じる。共通部分を増やすと児童が前学年の学習とこれからの学習をより結びついて考えられると思われる。

令和6使用小学校教科用図書研究報告書

教科 算数	種目 算数						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
17・教出		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		118	218 219	318 319	418 419	518	618

(1) 内容の特徴及び表現

- ①練習問題のところでは、間違いが起こりやすい問題について、考えるヒントが記載されており、つまづきへの丁寧な支援がされている。教科書の随所に二次元コードがあり、多くのデジタルコンテンツを利用でき、個別学習に適している。
- ②単元末に4コマ漫画が記載されており、大切なことや考え方を楽しくふり返ることができるように工夫されている。巻頭に前学年までの学習を生かした算数の見方・考え方が領域別にまとめて整理されている。巻末には「学びのマップ」と称して、それまでの学習とのつながりを調べて、学習をふり返ることができるページがあり、既習事項とつなげて学習ができる。
- ③単元末に学習したことを使って、日常生活で算数を見つけたり、知識を使って問題解決したりする活動が多くあり、算数の学習と日常の場面をつなげ、学習したことを使えるようになることが期待できる。
- ④単元の始まりや問題設定が、他教科と関わりをもたせた課題になっており、教科横断的に学習できる。
- ④第2学年以上の学年始めの単元では、「?を見つけよう」「!を見つけよう」など、問題発見、解決、追求の学びのモデルとなる学習の流れが示されている。全学年の巻末に、「プログラミングにちょうせん」または「表計算ソフトにちょうせん」のどちらかが設けられている。
- ⑤ユネスコ無形文化遺産のことや基石の数え方など、日本の伝統や文化に触れる問題がいくつか取り上げられており、日本についての理解を深めながら学習することができる。日本が世界に誇る科学技術を紹介し、算数の有用性を感じて自分の将来の職業を考えるきっかけとなるようにしている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・巻末の情報が多く、算数への興味を引き出す工夫がされている。
- ・ユニバーサルデザインフォントを利用しており、見やすい。
- ・授業開きのための特設ページが用意されており、楽しく算数の授業を始められるようになっている。
- ・第1学年は分冊がなく年間1冊の構成になっている。厚みがあるため平らに開きにくく、紙面上でのブロック操作や文字の記入がしにくいと考えられる。
- ・第2学年の途中まで数のまとまりが数図ブロックで表されており、数字が表記されていない。数を具体から抽象的なものへと段階的に意識が移行できるような工夫が必要となる。
- ・「めあて」や「まとめ」の記述はない。1単位時間の区切りが分かりにくく、課題からまとめまでは複数ページに渡る単元もある。1単位時間でめあてからまとめ、振り返りを展開することが難しいと考えられる。

(3) 総合所見

既習事項とのつながりを意識して学習できるつくりになっている。単元導入では身近な話題を取り上げており、また単元末では日常場面での問題が多数用意されていて、目的意識をもって課題解決できるようになっている。教科横断的な課題やSDGsなどの現代的な問題を取り上げたりするなど、さまざまな教育課題に対応しており、主体的な学びにつながっている。多くのデジタルコンテンツが用意されており、情報活用能力の育成につながる。しかし、第1学年は分冊がなく厚みがあることや、第2学年途中までまとまりが数図ブロックのみで表されているなど、低学年における数の素地を養うための工夫がさらに必要となる。また、1単位時間の区切りが分かりにくく、学習内容が捉えにくいと考えられる。

令和6使用小学校教科用図書研究報告書

教科 算数	種目 算数						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
61・啓林館		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		120	220	320	420	520	620
		121	221	321	421		

(1) 内容の特徴及び表現

- ①単元の最後のページには、「学びのまとめ」が設けられており、単元を通じた学習内容の定着を図ることができる。また、二次元コードも掲載されており、問題をネットでも閲覧できる工夫がされている。2年生以上の巻末には、「学びのサポート」（1年生には「もうすぐ2年生」）が設けられており、児童が、基礎的な問題に取り組む機会が確保されている。
- ②学習内容を活用した場面が記載されたコラムがあり、学習内容が、社会でどのように活用されているのか学ぶことができるように工夫されている。また「やってみよう」では、基礎基本を応用した考え方に触れることができる。「見方・考え方を深めよう」や「だれでしょう」といったコーナーで、数量の関係や問題の条件に着目して解決する文章題が記載されており、思考力を深めることが期待できる。
- ③単元の導入ページには、「じゅんぴ」（二次元コード）があり、既習事項をふりかえって、単元の学習を進めることができる。また、二次元コードを読み取らなくても、巻末に同じ問題が掲載されており、どちらから（二次元コード、教科書）でも、問題に取り組むことができる。児童が主体的に取り組むために、ゲームや工作を取り入れて、楽しく学習できる配慮がされている。
- ④全学年プログラミングのページが設けられており、算数と関連してプログラミングの学習に取り組むことができる。3年生以上ではSDGsに関連した問題が掲載されている。例えば、6年生では「データの整理と活用」と「図形の拡大と縮小」とSDGsを関連させた問題が掲載されている。
- ⑤6年生の巻末には、「未来へのとびら お仕事インタビュー」があり、6年間学んできた算数が、どのような場面で役に立っているのか、色々な職業の人たちへのインタビューを通して、触れることができる。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・ユニバーサルデザインフォントが採用され、文字がとても見やすい。
- ・「めあて」や、それに対する「まとめ」が記載されており、学習に取り組みやすい。
- ・「めばえ」（既習事項を確認するための問いなど）が記載されており、見通しがもて、「めあて」を立てやすい。
- ・見開き1ページなどでまとまっていることが多く、予習や復習に教科書を活用しやすい。
- ・多種多様（日本、外国、車椅子利用者）なキャラクターが登場しており、人権感覚の育成にもつながる。
- ・各ページで大切な言葉が記載されているが、より重要な言葉にはラインが引かれており、注目しやすくなっている。
- ・幼稚園や中学校との接続を考えた教科書構成になっている。

(3) 総合所見

構成や問題量のバランスが良く非常に使いやすい教科書である。各単元に二次元コードが載っており、学習用端末があれば、いつでもどこでも学習することができる。二次元コードの問題は、教科書にも掲載されているので、児童は自分にあった方法を選択し、学習することができる。また、教科書の「めばえ」「めあて」「まとめ」を活用することで、予習や復習にも取り組むことができる。

教科書には、学習した内容が社会でどのように活用されているのかといったコラム、様々な職業の人のインタビューが掲載されており、算数で学習した内容を実社会や職業につなげることができる。

令和6使用小学校教科用図書研究報告書

教科 算数	種目 算数						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
116・日文		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		122	222	322	422	522	622
		123	223	323	423		

(1) 内容の特徴及び表現

- ①全単元において、新しい単元に入る前に既習事項を確かめる「次の学習のために」のページがあり、系統性を意識してくり返し学習ができ、基礎・基本の定着を図ることができる。二次元コードを読み込めば、ヒントなど学習の助けとなるコンテンツにアクセスすることができ、児童が進んで学習しながら基礎基本の定着を図ることができる。
- ②ページの側注に「着目する点、どのように考えればよいか」ということが書かれている箇所があり、児童の思考を促している。第2学年以上には、「算数で使いたい見方・考え方」と「学び方ガイド」が、厚めの紙で切り離して使える設定になっている。問題について自分の考えをもった後は、説明したり話し合ったりする活動が設定されている。問題文とめあての提示後学習活動が複数ページにわたる場合もあり、学習内容をつかみにくい児童もいると思われる。
- ③巻頭の「算数の学習をはじめよう」のページでは板書をもとにした学習の進め方が示され、「学び方の方の4つのステップ」のページでは、算数の学習の展開の仕方が紹介されており、算数の学習への構えをもつことができる。巻末に難易度で分けられた問題があり、一人ひとりの学習状況や実態に応じて扱うことができる。巻末に、当該学年の学習内容に関わる既習事項が整理してあり、学習したことへの理解を深めたり既習 を使って考えたりすることができるようになっている。
- ④全時間のページにめあてが記載されており、その近くに見通しをもつための着眼点として「見方・考え方」も記されている。1年生2の教科書からプログラミングを扱うページがあり、低学年からプログラミングに触れられるようになっている。
- ⑤SDGsに関する内容や防災・安全、伝統・文化に関する問題が随所に取り上げられており、現代に関することや他教科と結び付けた学びができるように工夫されている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・しおりの紐がついていたり、全ページの上部に単元名が書かれたりしており、何の学習をしているのかということや、進度を確認できる。
- ・巻末のページが多く、さまざまな知識に触れられる。
- ・1年生1の教科書はとても薄い。巻頭が、遊びや生活と算数を関係づけた絵本のようにしており、抵抗なく算数の世界に入ることができるようになっている。
- ・第2学年の10以上の数の学習では、10や100のまとまりをタイル図で表現しているが、数のまとまりとして捉えにくく、100を超える数の具体的な操作が難しいと思われる。
- ・目次に次年度以降の学習についての記載がないため、当該学習が何に繋がるかといった系統生を考えながらの学習については工夫が必要である。

(3) 総合所見

①課題把握②自力解決③集団解決④まとめの問題解決の過程を示し、子ども自身が課題解決の道筋を考え、主体的・対話的な学びを目指したつくりになっている。また、SDGsに関する問題を取り上げるなど、現代的な課題に対応しており、児童が主体的・発展的に学ぶことができると考える。教科横断的な実践によって児童の深い学びにつなげることは可能であるが、各校の特色や実情を踏まえてしっかり計画することが必要である。児童によっては、課題を掴みにくかったり具体的な操作をしながら考えたりすることが難しい場合があると考えられる。

教科

理科

種目

理科

令和6使用小学校教科用図書研究報告書

教科 理科	種目 理科						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
2・東書		1年	2年	3年	4年	5年	6年
				307	407	507	607

(1) 内容の特徴及び表現

- ①「ふりかえろう」のページで、学習したことを自分の言葉で表現して振り返ることができ、「たしかめよう」では、基礎的・基本的な事柄に関する確認問題が掲載されている。また、CBT化への対応として、動画視聴を基に学んだことを生かして考える練習問題の二次元コード「デジ問」も添付されている。
- ②導入時の資料・観察実験のやり方・話し合いの例など、学びが広がり深まるデジタルコンテンツが充実している。また、下位学年の内容や他教科で学習した内容を想起させたり、「算数で学んだことを活用しよう」のコーナーでは、算数科との関連を図ったりする事ができる。
- ③単元導入の「レッツトライ！」のページは会話形式になっていたり、身近な自然現象や簡易的な体験や実験の写真資料が充実していたりするので、児童の興味関心を高め、疑問をもたせることで、児童が主体的に学習に取り組むよう工夫されている。
- ④話し合い活動の時に活用できる「デジ活」が掲載されており、思考力、判断力、表現力を身につけさせることができる。また、「理科の調べ方を身につけよう」のコーナーでは、情報の調べ方や調べたことのまとめ方、発表の仕方などについて、系統立てて示してあり、学習を進める手助けになる。
- ⑤「広げよう！理科の発想」「こんなところにも」「理科の世界 探検部」などのコーナーでは、日常生活で目にする事象について触れることで、理科的な発想力を広げたり、社会的・職業的自立に向けた態度の基礎を育成できる多くのコラムが掲載されたりしている。また、SDGsと学習内容の関連も掲載されており、特に6年生ではSDGsの項目アイコンも掲載されている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・UDの視点から、問題やまとめは緑色の枠、観察や実験はオレンジ色の枠と色の区別をつけたり、タイトルなどは少し大きめの字で表すなど、ページ全体が見やすくなっている。
- ・二次元コードの「理科ノート」を呼び出して、PC上で観察・実験結果や自分の考えを書き込み、それを保存することができる。また、学習用端末を活用すれば、友達の考えなども共有することができ、ペーパーレス時代の学習方法として有用である。
- ・全学年の巻末に、「理科とプログラミング」のページを設け、二次元コードでプログラミングを体験できるように工夫されている。
- ・「思いだそう」のコーナーで、他教科の既習内容や生活経験との関連を図ることができるようになっている。
- ・安全な観察・実験を行うための配慮が必要な場面では、「きけんマーク」を掲載し、禁止事項とその理由を強調してあり、事故防止や安全面、衛生面での配慮がなされている。
- ・全体的に分量は適量で、バランスよく配分されている。

(3) 総合所見

児童の思考の流れを大切にして、問題解決学習を実現できるような構成になっており、「学びのライン」として学習の流れが「見える化」されている。また、教科横断的な学習が進められるような配慮や事故防止や安全面・衛生面での配慮等もなされている。興味・関心をひくような導入から、観察・実験などの探求活動、考えを広げて深める話し合い活動、まとめの仕方など、多くの場面で使えるデジタルコンテンツが豊富に準備されていて、児童が主体的に学習に取り組むように工夫されている。単元末や巻末には、SDGsやキャリア教育、伝統・文化に関わるような読み物や活動が設定してあり、日常生活や社会とのつながりを実感できるようになっている。

令和6使用小学校教科用図書研究報告書

教科 理科	種目 理科						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
4・大日本		1年	2年	3年	4年	5年	6年
				308	408	508	608

(1) 内容の特徴及び表現

- ①各単元の最後には確かめのための問題が設定されていて、基本事項の一層の定着が期待できる。学習で扱う実験器具も使用方法を「大きくして調べる」等、目的に応じて分けて示した項目が設けられている。ただ、問題の自力解決ができなかったときに教科書のどのページを参照すればよいかといった記載があれば更に学習の振り返りが効率的にできるものと考えられる。
- ②知識技能を活用するために、「考えよう」「考察」があり、丁寧なイラストで分かりやすく学習の進め方が記載されている。また、児童が自ら思考・判断・表現を深めていくための手立てとして、「りかのたまてばこ」「サイエンスワールド」を設けている。また、第5学年では、災害についての備えるべき知識等が分かりやすく掲載されている。
- ③児童生徒が主体的に学習に取り組むために、各単元の最初に効果的な写真や吹き出しを用意しており、学習への期待感を高める構成になっている。また、学習した内容に関する「はってん」が設けられ、単元と日常生活とのつながり、先の学年や中学校で学習する学習内容について紹介されている。
- ④SDGs等の環境保全に目を向けさせる情報の掲載をしたりその他の実験方法を掲載したりして、地域や現在の教育のニーズに配慮した構成になっている。安全への配慮が徹底しており、赤字で分かりやすく掲載されている。また、グラフの利点、ICT活用について示した「記録と整理のしかた」が設けられている。
- ⑤郷土の自然や科学技術、科学の発展に貢献した人やその業績について紹介したページが設けられている。また、全学年の裏表紙には「ジオパーク」が掲載されている。学習の手順が分かりやすく示され、結果の記載も簡潔で明確に記されており、玉野市の児童にとって効率よく授業を進めていくのに効果的であると思われる。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・全体の分量が適切であり、学習内容も各単元バランスよく配分されている。
- ・学習の進め方については、一貫性が見られ、4年間を通じて理科の学習の進め方についての系統的な手順や方法が身につくような構成になっている。ただ二次元コードの掲載が多く見られ、情報量の過多により、調べ活動等で学習上での混乱が懸念される。効率のよい学習を担保するためにも情報の集約化、一元化が望まれる。
- ・巻末には全単元の「単元のまとめ」が掲載されており、身につけておきたい基礎基本についての振り返りが即時にできる。
- ・ノートの取り方や実験器具の取り扱い及び記録やその整理の仕方並びに情報機器の使用方法についてもまとめて巻末に掲載されていて、学習の支援に役立つ工夫が施されている。

(3) 総合所見

写真やイラストを通じて、視覚的な支援が見られたり、学習の進め方が分かりやすく丁寧に記述されていたりしている点などを根拠にすると、指導者側も継続的かつ計画的な学習計画を組み立てることができ、また学習者にも相当な学習効果が期待できるものと推察される。ただ、理科学習における法令上の時間数を考慮したり、限られた時間の中で学習をすすめていかななくてはならない学習者の一般的な能力等を鑑みたりした場合、特に理科学習が導入される第3学年においては情報の混乱が予想されるものと思われる。

令和6使用小学校教科用図書研究報告書

教科 理科	種目 理科						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
11・学図		1年	2年	3年	4年	5年	6年
				309	409	509	609

(1) 内容の特徴及び表現

- ①基礎基本の定着に向けて、巻末に観察実験の手順や実験器具の操作手順がまとめられており、更にチェック欄があることで大切な内容を確認しながらできるように工夫されている。
- ②知識技能を身につけるために、単元の導入で、その単元でつきたい力を子どもたちに分かりやすく「理科モンスター」というキャラクターを使って明確に示している。また、問題解決の過程で「学習の中で力を出せたと思ったところに」にハートを塗れるようになっている。単元の終わりには、導入で示した力がついたかについてチェックをして振り返ることができるようになっている。更に、二次元コードが多く掲載されており、関連する内容をデジタルコンテンツで確認できたり、練習問題を解いたりできることで、くり返し学習できるように工夫されている。
- ③児童が、主体的に学習に取り組めるように「わかったこと」（まとめ）の後には、発展的な内容が位置づけられている。その内容としては、実生活の中でどのように活用されているか言葉での説明を求める内容が多く取り上げられており、深い学びにつながるように工夫されている。また、防災に繋がる内容も多く取り上げられている。
- ④情報活用能力の育成につながるよう、巻末に図書館の活用や ICT の活用方法についてまとめたページが設けられている。ICT の活用の内容としては、その学年での活用事例が取り上げられており、活用場面が想像しやすいように工夫されている。また、単元の途中には、ICT 機器を活用すると効果的な学習ができる場所に、ICT マークが付けられている。6年生の教科書では、プログラミングの内容を4ページ分取り上げており、プログラムと絵を対応させるなど工夫されている。
- ⑤SDG s と単元の内容の関わりが裏表紙に掲載されていることで、SDG s についても意識して学習できるようになっている。また、夏休み前に学習する「わたしの自由研究」では、科学分野で活躍する人のアドバイスが紹介されている。しかしながら、ページの内容が漠然としているため、児童がイメージをもちにくい。教科書に実生活と結びつけられるように、様々な場所の写真を掲載しているが、関東や愛媛のものが多く、児童が身近に感じにくい。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・巻頭にその学年で学ぶ単元が理科のどの分野に含まれるものか仲間わけや学習の観点が示されており、一年間を通しての学習の見通しがもてるようになっている。
- ・該当学年で準備が必要な植物などについて巻頭でまとめてあり、予め準備がしやすいようになっている。
- ・UD の視点で作られており、6年生でも1ページの文字数があまり多くなく、イラストや写真も効果的に使われており読みやすい。また、実験部分の背景に色がついていることで、一目で注目できるように工夫がされており、教科書全体として見やすい。
- ・実験で使う道具の使い方などをその単元のみで使用するものは、単元の途中に書いており、複数の単元で扱うものは、後ろの巻末にまとめてあることで実験や指導がしやすいように工夫されている。

(3) 総合所見

教科書全体としては、UD の視点で作られているので、写真やイラスト、デジタルコンテンツを効果的に使い、児童にとって分かりやすいものとなっている。また、キャラクターを活用しその単元で身につけたい力を明確に示し、単元末では、その観点について振り返るページがあるなど、自分の学びを意識できるように工夫されている。発展的な内容を随所に取り上げ、学びが深まるような工夫がされている。しかしながら、どの学年も、岡山県や玉野市に関連する資料が取り扱われておらず、児童がその事象について身近に感じにくい。また、実験と結果（わかったこと）が同じページに掲載されている単元もあり、教科書を使っでの指導がしにくいところもある。

令和6年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科	理科	種目	理科					
発行者番号・略称			教科用図書番号					
17・教出			1年	2年	3年	4年	5年	6年
					310	410	510	610

(1) 内容の特徴及び表現

- ①基礎基本の定着に向けて、各単元末にある「ふり返ろう」で、その単元で学んだことが簡潔にまとめられている。また、各学年の巻末に1年間で学んだこととして2ページにまとめて記述されており、児童が学習をした後に学習事項を容易に確認することができるような工夫がなされている。
- ②知識技能を活用するために、発表の仕方については国語での話型、6年の「てこ」については算数の反比例等、他教科との関連を分かりやすく取り上げた内容を掲載するなどの工夫が見られる。また、表現力を育むために各学年ともに「ノートのとおり方」についての詳しい記述が見られる。
- ③児童が、主体的に学習に取り組むために随所に「資料」「科学のまど」「チャレンジ」といった学習内容と関連した身のまわりの話題を紹介したり、学びを深めたり広げたりできるような項目が設けられており、発展的、自主的な学習ができるように工夫がされている。
- ④情報活用能力の育成につなげられるよう、全ての学年にわたって学習用端末の活用場面が具体的に提示されており、ICT機器を積極的に活用した学びが期待できる。また、教科書の内容と関連あるデジタルコンテンツを集めた「まなびリンク」の二次元コードがあり、教科書紙面だけでは紹介できない動画や資料で、子どもの学びを深めたり、興味を引き出したりすることができるように配慮されている。
- ⑤4年生で「中秋の名月」、6年生で「松尾芭蕉の俳句」や「日本の祭り」の紹介など、我が国の伝統や文化との関連を扱おうとする意識が感じられる。しかし、4年生の「夏と生き物」の単元で後楽園（岡山市）のはすの花が紹介されている程度で、玉野市の写真や関連した資料は全く掲載されていない。各学年ともに巻末に「メッセージ」として様々な分野の専門家からのインタビュー記事が載せてあり、キャリア教育につながる工夫がなされている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・A4判よりも小さいサイズであるため、理科室などに持ち運ぶときには便利だと思われる。
- ・「理科室の使い方」が各学年に掲載されており、理科室で実験を行うときの服装や火の扱いなど、注意すべきことを示すとともに、地震や感染症流行時の注意点が紹介されている。
- ・各学年ともに、「問題」→「予想しよう・計画しよう」→「観察・実験」→「結果」→「結果から考えよう」→「結論」の形式で進むため問題解決の流れが明確なので自分が問題解決のどの過程にいるのか確認しやすく、見通しをもちながら主体的に学習を進めることができる。ただ、3年生でも分かったことが「けつろん」という言葉で示されるため児童にとって用語が難しい。
- ・各学年の単元毎の最後に「たしかめよう」という基本的な問題が掲載されている。しかし、同じ見開きの反対側のページにその単元の「ふり返ろう」というまとめがあり、問題の答えがすぐ分かるようになるので、「たしかめよう」をする時にはやり方に工夫が必要である。

(3) 総合所見

課題解決型の学習が展開できるように流れが把握しやすい構成になっている。また、随所に「資料」「科学のまど」「チャレンジ」といった学習内容と関連した項目が多数設けられていて、発展的、自主的な学習ができるように工夫がされている。

また各単元末にある「ふり返ろう」で、その単元で学んだことが簡潔にまとめられており、学習をした後に学習事項を確認しやすく確実な知識、技能が身につく構成となっている。しかし、「たしかめよう」の問題をするときには、すぐ隣のページにある「ふり返ろう」を隠す等の配慮を必要とする。

令和6使用小学校教科用図書研究報告書

教科 理科	種目 理科						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
61・啓林館		1年	2年	3年	4年	5年	6年
				312	412	512	612

(1) 内容の特徴及び表現

- ①基礎基本の定着に向けて、単元で学習したことをまとめた「まとめノート」が設けられ、関連する次の学年の「思い出そう」に「まとめノート」と同じものが掲載されている。また、関連する単元の基礎的・基本的事項をまとめた「これまでの学習をつなげよう」が設けられている。
- ②知識技能を活用するために「くらしとリンク」の内容が単元末に設定されており、学習したことが自分たちの生活とつながっていることを感じるのに効果的である。巻末に算数で学んだ内容との関連がまとめられていて、教科横断的な扱いができるように工夫されている。単元で学習したことを生かして考えたり、説明したりする「活用しよう」が設けられている。実験の成功性を上げるために、6年「水溶液」の単元では、アルカリの水溶液が「石灰水」から「重曹」になり、工夫がなされている。
- ③児童が、主体的に学習に取り組むために、単元初めに「思い出そう」「はじめに考えよう」についての記述がされており、既習事項や生活体験から課題意識をもたせることができるよう配慮されている。また、「ウィズアース」として防災やSDGs、STEAM教育について取り上げられ、学習内容に関連する日常生活の場面や科学技術、音楽、ものづくり、アート等について紹介されている。
- ④情報活用能力の育成につなげられるよう、実験や観察で結果を示されたり、NHK for school や気象庁にリンクが張られたりした二次元コードが示されている。また、ところどころに「やってみようプログラミング」としてゲームなどの配慮がされて、プログラミング的思考につながる学びが期待できる。ICT 端末を活用し、学習したことを生かして映像を見て答える問題ができる CBT「ワクビット」へのリンクが巻末に紹介されている。
- ⑤掲載されている風景の写真には、場所が明記されている。学習した内容と関連がある仕事に携わる人の声を動画で聞くことができる「インタビュー」が設けられていて、キャリア教育への効果が期待できる。また、日常生活に関わる自然の事物・現象や科学技術等を紹介した「くらしとリンク」が設けられている。3年「かげと太陽」の学習では、コラムで「マスカット」（岡山）が紹介されている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・全体の分量が適切であり、学習内容がバランスよく各単元に配分されている。
- ・児童にとってわかりにくい用語については欄外に簡潔な解説が設けられている。
- ・観察・実験の安全に関してピクトグラムで「やけど」、「はい液」等が示されている。理科の「見方」・「考え方」や「見方・考え方が役立つ場面」が巻末に示されている。また、単元内の理科の見方・考え方についてのキーワードがマーカー線で示されている。
- ・目次ページに「季節ごよみ」の欄があり、当該学年で育てる植物の成長の流れが示されており、種まきの時期が一目でわかる。
- ・実験・観察ページが概ね見開きの右ページに配置されており、実験・観察結果がすぐにわからないように工夫がしてある。
- ・「まとめノート」のページは、手書き風の文字で書かれており、児童が身近に感じやすい。

(3) 総合所見

各ページの情報量が適切であり、教科書のページがすっきりと見やすい。教科書の大きさが小さく、児童に受け入れやすい。また、実験方法や材料なども、新たな提案をするなど、よりよいと思われる内容を積極的に取り入れている。CBT、STEAM 教育、算数、防災教育など各種教育と繋がれるように工夫されている。その上、岡山県に関係のある内容なども取り上げられている。しかし、巻末に実験道具の扱い方等がまとめられておらず、実験道具の使い方をふり返ろうと思った時にすぐに見つけにくいため、扱いづらいところがある。

教科

生活

種目

生活

令和6年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科 生活	種目 生活						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
2・東書		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		117	118				

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 単元ごとに重要事項について二次元コードを掲載し、注意点や約束事・活動の仕方・作業手順がデジタルコンテンツで分かりやすく示されており、教科書の学習内容について理解を深め、基礎基本の定着を図ることができる。
- ② 観察活動に必要な知識技能を身に付けるために、観察カードの書き方や観察の着眼点が、具体的に示されている。学校探検でのあいさつや質問の仕方、探検での観察の観点、学区探検での注意点などについて、図や吹き出しで分かりやすく示されており、観察活動に必要な技能が身に付くように工夫されている。うごくおもちゃ作りでは、よく動く仕組みを工夫する学習や、楽しく遊ぶための工夫を行う学習を設定しており、おもちゃの仕組みを考えたり、発表の仕方を試したりするなど、思考力・判断力・表現力を育成する単元構成となっている。また、巻末の「かつどうべんりてちょう」では、挨拶・気持ちの伝え方・観察の仕方・道具の使い方・インタビューの仕方・考え方の視点など、生活科でねらう知識技能や思考判断する力を図示して、分かりやすくまとめられており、活用がしやすい。
- ③ 主体的に学習する態度の育成に向けて、「じぶんでできるよ」では、自主自立に向けて家族の家での仕事を観察し、自分自身ですることと、家族のためにチャレンジすることの2項目に着眼させ、カードにまとめて発表することで、社会性や自主性につながる技能や、主体的に役割を果たそうとする意欲を高められるように工夫されている。
- ④ 発表会でタブレット型端末で写真を投影している場面を示したり、巻末の「まとめようたえよう」ではデジタルコンテンツでのアルバム・紙芝居・図鑑で学習をまとめる方法も示したりするなど、情報活用能力の育成につなげる配慮がなされている。
- ⑤ 上巻では「がっこうすたあと」で幼児期との接続として、小学校での生活や学習について写真や図で詳しく具体的に示し、玉野市の児童がスムーズに小学校生活に移行できるように配慮されている。また、学校から地域へ学びの場を広げて、地域の人々と接したり質問したりする活動を行い、分かったことを様々な方法でまとめて発表する単元構成をすることで、児童の学びの場が広がり、学びを深めていきやすいように工夫されている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・写真や図の視覚支援が分かりやすく配列されており、説明文も添えられているので、学習の手順やねらいがはっきりしている。
- ・注意点や着眼点を、図や説明文で提示しており、学習カードのまとめ方や観察方法の説明が具体的で分かりやすく、指導の観点が明確である。
- ・巻末の「かつどうべんりてちょう」では、学習活動に必要な知識や技能や、考え方のヒントが示されており、児童の興味関心を高める配慮がなされている。

(3) 総合所見

右上部分に活動時の注意点や心構えを記したり、深い学びに発展させるためのポイントを記したりすることで、学習計画を立てやすくしており、見通しをもって学ぶことができる。また二次元コードにより動画を視聴できるため、どの児童も活動のイメージをもちやすく、具体例を真似たり学んだりしやすい。「かんさつずかん」では、カードの書き方を詳しい具体例で示したり、巻末の「かつどうべんりてちょう」では学習スキルを示して、写真や図を多く配置したりすることで、学習の進め方が具体的に分かるように配慮されている。

令和6使用小学校教科用図書研究報告書

教科 生活	種目 生活						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
4・大日本		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		119	120				

(1) 内容の特徴及び表現

- ①基礎基本の定着に向けて、学習内容が、写真や絵、言葉、二次元コードを利用したデジタルコンテンツで分かりやすく示されている。「がくしゅうどうぐばこ」では、学習に必要な知識がまとめて示されているので、それを利用して観察したり活動したりできるように工夫されている。
- ②知識・技能を活用するために下巻「わたしの町はっけん」では、春の町散歩でみつけたことをさらに発展させて、もう一度地域の人に話を聞き、発表する内容が設定されており、より深く自分との関わりを知ることに効果的である。また、児童が自ら思考し、判断、表現するために、学んだことを発表する活動が設定されており、情報機器の活用など発表方法の工夫が随所にみられ、思考を広げたり深めたりすることに効果的である。
- ③児童生徒が、主体的に学習に取り組むために、自分の気持ちや考えを教科書に書き込むことができるページが單元ごとに設定されている。また、見開きページに様々な活動が具体的に紹介されていたり、一部を大きく写した写真を使ったりして児童が興味を持って主体的に活動することができるように工夫されている。
- ④情報活用能力の育成につなげられるよう、「せいかつことば」として多様な言語表現が紹介されている。また、二次元コードを利用してもっと知りたいときには自分で調べるなど主体的な学びが期待できる。
- ⑤玉野市の児童生徒にとって幼児期で得た経験が導入として取り上げられていることは、小学校での学びへとスムーズに移行することに効果的である。また、下巻の巻末には各国の国旗やあいさつ、料理が「せかいのなかま」として紹介され、国際理解を深めることに効果が期待できる。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・季節の流れに沿った大単元構成で、学習内容が單元の中で一体的に取り上げられており、上巻から下巻へと学習内容が深まるように構成されている。
- ・ページ下部に児童の気持ちが表現できるように言葉を書き込める吹き出しや色を塗るマークが掲載されている。
- ・単元の途中や巻末に「がくしゅうどうぐばこ」が示され、学習方法や安全について具体的に示されている。

(3) 総合所見

「がくしゅうどうぐばこ」では、学習に必要な知識がまとめられているので、参考にしながら学習に取り組むことができる。二次元コードを利用して興味のあることは、さらに深く調べることができるので主体的な学習の取り組みに効果的であるが、教科書とタブレット型端末を併用するのは、低学年の児童にとっては活用しにくい。教科書に児童の考えを書いたり気持ちを書き込んだりすることができるので、ワークシートとして利用したりふりかえりをする時に有効である。

令和6使用小学校教科用図書研究報告書

教科	生活	種目	生活				
発行者番号・略称		教科用図書番号					
11・学図		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		121	122				

(1) 内容の特徴及び表現

- ①基礎基本の定着に向けて、上巻「わたしのあさがお」や下巻「わたしたちの野さいばたけ」では、植えてから収穫までが一単元でまとめられており、見通しをもって学習に取り組むことができるようになっている。また「ものしりノート」「ものしり図鑑」では、ワークシートの書き方を詳しく示すなど、知識や技能が身につくように工夫されている。
- ②知識技能を活用するために、自分が見つけたことや学んだことを「はっけんカード」などに書き、ふりかえりではそれを掲示したり、新聞やかるたを作ったりして、工夫して表現する活動が設定されている。
- ③児童が主体的に学習に取り組むために、見開きページの右下には、児童の思いが書かれ、次の活動への意欲につながるよう工夫されている。単元の最後に「もっと○○」が設けられており、学習したことを児童が主体的に実生活に生かそうとする効果が期待される。また、下巻「うごくおもちゃを作ろう」では、もっとパワーアップさせようと児童が試行錯誤する活動が設定されており、もっとよくするためのヒントが示されていて気づきや学びを高める工夫がされている。
- ④情報活用能力の育成につなげられるよう、巻末の「学び方図かん」では、学ぶ力をつけるための話し方、聞き方、書き方、調べ方などのポイントが掲載されている。
- ⑤玉野市の児童生徒にとって、小学校生活が安心して始められるように「はじまるよしょうがっこう」が設定されており、スムーズに小学校への学習に移行できることが期待できる。また、下巻では地域の伝統的な祭りが紹介されたり、上巻では高齢者から昔遊びを教わる様子が掲載されたりしており、日本の伝統文化を学ぶために効果的である。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・A4版より縦が2cm短い紙面で各見開き左上に単元における本時の位置づけが示されている。
- ・上巻から下巻へと活動や体験の場が広がるよう単元が配慮されている。活動ごとに単元が示されている。目次では、単元を実施する時期が示され見通しをもって学習に取り組むことができる。
- ・絵や写真を多く取り入れ、文字は見出しと児童の吹き出しの言葉が主で少なくなっている。
- ・巻末に「ものしり図かん」があり、学ぶ力をつけるための知識、技能や安全についての配慮が示されている。

(3) 総合所見

単元の最後に「もっと○○」が設けられており、児童がさらに興味をもって学びを深められるような工夫がされている。上巻から下巻へと活動が広がるように単元が構成されており、活動ごとに単元が設定されていることで見通しを持って活動できるが、時期は目次を確認しながら取り組む必要がある。巻末の「学び方図かん」では、話し方、聞き方、書き方などのポイントが示されていて情報活用能力に効果的である。「ものしりノート」では、見開きのページに様々な情報が掲載されているので、分かりやすく示されているものも多いが、児童にとっては情報量が多く理解しづらいところもある。

令和6使用小学校教科用図書研究報告書

教科 生活	種目 生活						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
17・教出		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		1 2 3	1 2 4				

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 巻末の「学びのポケット」では、学習カードの書き方、挨拶の仕方、話し方や話し合いの仕方、思考の整理方法、調べ方、まとめ方や発表の仕方、道具の使い方、情報機器の活用方法などの学習の基礎基本となる事項が示されている。また、各单元ごとに6つの力（気づく・考える・自分でできる・伝える・自信をもつ・挑戦する）の中で特に重点をおいて育成する力を明確にして、单元構成するように工夫されている。
- ② 児童が新たな気づきをもち、考えを深めるために、？マークの部分で問題提起をし、学習が段階的に深まっていくように工夫されている。また、写真を多く掲載したり、ワークシートや学習カード等の書き方を示すことで、書く視点や分かりやすくまとめる方法が、具体的に理解できるように意図されている。さらに、「ヒント」「やくそく」「理科へのまど」の項目を設けて、観察の仕方のヒントや学習を深める重点を挙げたり、活動時の注意点、理科につながる発展的な考え方などを示すなどして、習得した知識技能を活用する学習にするための工夫がされている。
- ③ 「まなびリンク」の動画・ワークシート・デジタル図鑑を活用することで、各单元ごとに学習の見通しをもちやすくし、主体的かつ意欲的に学習に取り組むことができるように意図されている。また、「わくわくスイッチ」や「かんがえまとめいろ」で、単元の導入学習の意欲付けや、探究意識を継続させるように意図されている。
- ④ 発表会の場面で、情報機器による映像やオンライン発表の様子を、イラストや写真で図説しており、情報機器の利点を活かす発表方法を示すことで、情報活用能力の育成を図っている。
- ⑤ 上巻では「はじめのいっぽ」で幼児期との接続として、小学校での生活や学習について写真や図で具体的に示し、玉野市の児童がスムーズに小学校生活に移行できるように配慮されている。また下巻では、地域へ学びの場を広げて、地域の人々と接したり、訪問したりする活動を行い、いろいろなまとめ方を工夫して発表する单元構成をすることで、児童が学びを深めていきやすいように工夫されている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・ 上巻から下巻にかけて、児童の行動範囲が広がり、気づきが深まるように構成されている。
- ・ 各時間ごとに問題提起のリード文「どんな、どうして、何が、だれが～か」が掲載されており、課題意識をもって学習を進められるように構成されている。
- ・ 巻末の「学びのポケット」では、伝え方や情報機器の活用方法、考え方などについて、具体的に説明されており、児童が学習する時の具体例が分かりやすい。
- ・ 「まなびリンク」教科書以外に動画やデジタル図鑑等で、詳しく学べ、理解が促進されるように工夫されている。

(3) 総合所見

各单元で育成したい力を6種類に分類して示し、巻末の「学びのポケット」でどのような知識技能を活用できるかも示されており、知識技能を活用して、思考・判断・表現力を身に付けるように意図されている。また、問題提起のリード文を段階的に提示することで、児童が毎時間ごとに探究意識をもって学習を行えるように工夫されている。

单元初めの「わくわくスイッチ」の活用方法が分かりにくい点や、季節の移り変わりを見つける学習での絵の情報量が多く、見づらい点が見受けられる。

令和6使用小学校教科用図書研究報告書

教科	生活	種目	生活						
発行者番号・略称				教科用図書番号					
38・光村				1年	2年	3年	4年	5年	6年
				127	128				

(1) 内容の特徴及び表現

- ①様々な体験活動を通して他者の存在や町で働く人の思いに気付くなど、活動を通じて学びを深める工夫がされている。基礎基本の定着に向けて、生活科で育成したい力を14の観点に設定し、活動につまずいたときや試行錯誤するときに大切な視点や、活動のヒントが「学び方のヒント」として、全ての小単元に設定されている。示された観点を手がかりに活動をふり返ることで、知識や技能を定着できるようにしている。
- ②自ら思考し、判断、表現するために、写真とふきだしを使って学習の過程が提示されており、気付きや学びを広げたり高めたりするのに効果的である。単元末の振り返りでは、自分の活動体験を、自分の言葉で表現することができるよう、「①対話の中でふりかえる」「②自分のことばで表現する」という2つのステップが丁寧に示されており、また、多様な表現方法が提示されている。
- ③児童が主体的に学習に取り組むために、「ふりかえろう」が全ての小単元に位置づけられており、活動について「感じたこと」と「考えたこと」の両方の面から確かめ、表現できるように工夫されており、次の学習や実生活につながられるようにしている。
- ④上巻最初の單元には、スタートカリキュラムとの関連が示されている。下巻最後の單元には、中学年での学習へのつながりが示されている。情報活用能力の育成につながられるようタブレット型端末等、情報機器の活用が取り上げられている。別冊付録「ひろがるせいかつじてん」では、健康、SDGs、道具の使い方、情報機器の利活用、記録のとりかた、インタビューのしかた、発表のしかた、情報のまとめかたなどが具体的に示され、中学年以降でも活用できるようになっている。
- ⑤上巻最初の單元にはスタートカリキュラムとの関連が示されており、玉野市の児童生徒にとって、スムーズに小学校への学習に移行できることが期待できる。また、上巻「なつのたのしみ」や「ふゆのたのしみ」、下巻「きせつのくらし」では、伝統的な祭りや季節の行事等が写真で紹介されており、日本の伝統文化を学ぶために効果的である。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・上巻から下巻へと活動や体験の場が広がり、内容も深まるよう学習内容が配置されている。
- ・全ての単元に、自分の経験と結び付けたり考えたりできるよう、「こんなことあるかもね」のコラムが設定されている。
- ・汎用的なスキルや資料が「ひろがるせいかつじてん」としてまとめられており、本編に関連ページが掲載されて活動に応じて参照できるようになっている。

(3) 総合所見

生活科で育成したい力が14の観点に整理され、活動につまずいたときや試行錯誤するときに大切な視点が「学び方のヒント」として全ての小単元に設定されており、学びの手がかりとなる工夫がある。別冊付録「ひろがるせいかつじてん」では、健康、SDGs、道具の使い方、情報のまとめかたなどが具体的に示されており、中学年以降も活用できる内容となっているが、低学年児童にとって情報量が多く、理解しにくい。

令和6使用小学校教科用図書研究報告書

教科 生活	種目 生活						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
61・啓林館		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		129	130				

(1) 内容の特徴及び表現

- ①基礎基本の定着に向けて、学校とその周辺から地域へと活動範囲を広げる中で、挨拶や聞き方など育成したい力を身に付けられるよう活動が設定されている。「かんさつめいじん」では、観察技能が身に付けられるように「みつける」「くらべる」「たとえる」等の視点が示されている。
- ②単元の最後には、調べたことや学んだことを表現し、伝える活動が設定されている。児童が、自ら思考し、判断、表現するために、言葉・絵・動作・劇化・情報機器を活用した発表などが具体的に例示されており、多様な表現活動を促すことができる。また、Yチャート、ピラミッドチャート等、多様な考えを引き出すための思考ツールが紹介されている。
- ③児童が主体的に学習に取り組むために、単元導入時には、「わくわくたいむ」を設定し、生活体験や身近な人との関わりを振り返り、思いや願いを引き出せるようにしている。活動後の思いや願いを紙面の右端に提示することで、活動が連続して進められる工夫がされている。次の活動への意欲を高め、児童が主体的に学ぶことができるようにしている。
- ④情報活用能力の育成に繋がられるよう、二次元コードを利用して「デジタルたんけんブック」で学習に役立つデジタルコンテンツを見ることができるようになっている。幼児期からの学びをつなぐ「すたあとぶっく」、生活科でつけた力を3年生以降の学びをつなぐことができるよう「ステップブック」が資料単元として設定されている。
- ⑤玉野市の児童生徒にとって、幼児期からの学びをつなぐ「すたあとぶっく」があり、安心して小学校生活を始められることが期待できる。また、上巻では、夏や冬の遊びや生活、地域の行事の様子が、下巻では、四季の伝統行事や、各地の祭り、旬の食べ物等が写真やイラストで紹介されており、日本の伝統文化を学ぶために効果的である。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・単元導入「わくわく」、主な活動「いきいき」、振り返り「ぐんぐん」の3段階で各単元が構成されており、学びが繰り返し深まるように工夫されている。
- ・巻末には、「がくしゅうずかん」があり、活動に応じて参照できるよう、本編に関連ページが掲載されている。
- ・上巻では、「すたあとぶっく」の冒頭に生活科のねらいを説明した保護者へのメッセージが掲載されている。上下巻ともに、最終ページでは、教科書の構成等が保護者へ向けて示されている。

(3) 総合所見

上巻から下巻へと活動や体験の場が広がり、内容も深まるよう学習内容が配置されており、基礎基本の定着に向けて、学校とその周辺から地域へと活動範囲を広げる中で、挨拶や聞き方など育成したい力を身に付けられるよう活動が設定されている。単元の最後には、調べたことや学んだことを表現し、伝える活動が設定されており、Yチャート、ピラミッドチャート等、多様な考えを引き出すための思考ツールが紹介されているが、活用場面や発達段階に合わせた指導の工夫が必要である。

教科

音楽

種目

音楽

令和6使用小学校教科用図書研究報告書

教科 音楽	種目 音楽						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
17・教出		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		103	203	303	403	503	603

(1) 内容の特徴及び表現

- ①新しく学習する音符や記号、リコーダーの運指等がページ端に掲載されている。第2～6学年では、巻頭に「スキルアップ」と題し、歌声とリズムのトレーニングができる楽曲が掲載されている。音楽づくりや鑑賞教材のページでは、学びや気づきが書き込めるように工夫され、基礎基本の定着が期待できる。
- ②音楽を形づくっている要素が「音楽のもと」として見開きごとに示されており、いつも意識して学習することができる。第3～6学年では、気付いたこと等をメモできるようページが構成されている。表現や鑑賞の活動の参考となる写真やイラストが掲載されており、イメージを広げながら学習に取り組むことができる。
- ③学習の見通しや活動が「学習マップ」に示されている。どのように学ぶかが「まなびナビ」に示されていたり、関連のあるページやこれまでの学習を思い出すためのページが示されたりしている。全学年共通した楽曲が全校合唱として紹介されており、各学年に応じた難易度で演奏できるようになっている。
- ④必要に応じて学習に役立つ情報をウェブサイトで見られるように、閲覧できる資料と関連する箇所に二次元コードが示されている。楽曲の演奏と共に演奏されている部分が点滅するなど、音や旋律の重なり方など曲の構成が視覚的に捉えやすくなっている資料もあり、音楽的要素をより深く学習していくことができる。
- ⑤生活や社会と音楽との関わりについて考えるために、第4学年では各地のお祭りが、第5学年では民謡が紹介されている。4年生では、「日本のお祭りをたずねて」という題材で、四季それぞれの日本各地のお祭りが紹介されている。自分たちの地域にはどんなお祭りがあるのだろうと地域のお祭りに興味を持たせたり、お祭りは長い年月を経て変化しながらも、代々受け継がれている地域の宝であることに気付かせたりすることができる。玉野市の子ども達に、地域の祭りで演奏していることが、伝統文化を継承する姿であると感じさせることができる。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・運指を常に確認できるよう、運指表が折り込みページに掲載されており、広げて見ることができるよう工夫されている。
- ・共通歌唱教材は写真に力を入れているページが多く、曲のイメージをもちやすいように工夫されている。
- ・全体的に情報量が豊富で、音楽的知識が詰め込まれており、音楽に対して関心の高い児童にとっては、学びが大きい。

(3) 総合所見

本出版社では音楽的な見方・考え方を促すよう、音楽を形づくっている要素「音楽のもと」が各ページに示されているだけでなく、巻末にまとめられている。そのため、音楽科の特質に応じた言語活動の深まりが期待できる。

また、1年生の鍵盤ハーモニカの学習から、タンギングの仕方を明記していたり、音の出し方を図で様々に表現したりしており、演奏能力を高められるようになっている。

また、共通歌唱教材には日本人の心が揺り動かされるような美しい写真が使われており、愛国心を育てるような工夫がなされているのが特徴的である。

二次元コードを活用し、楽譜が点滅するなどICTならではの工夫はあるが、音楽編集や自動演奏をすることができない点が課題である。

令和6使用小学校教科用図書研究報告書

教科 音楽	種目 音楽						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
27・教芸		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		104	204	304	404	504	604

(1) 内容の特徴及び表現

- ①第1～4学年では、「そだてよう」と題し、音楽の力を育てるために繰り返し行う活動が掲載されている。新しく学習する音符や休符、記号などが「がくふマスター」として掲載されており、音符や休符はなぞったり書き込んだりすることができるようになっている。基礎基本の定着に向けて様々な工夫がされている。
- ②音楽を形づくっている要素がページ端に掲載されている。知識や技能を活用して表現や鑑賞をするための活動が、「考える」「見つける」「歌う」等のマークで示されており、鑑賞と表現を関連付けながら思考判断する工夫がなされている。音の高さやリズムが視覚的に捉えられるよう、図形楽譜が示されており、音楽の専門的知識がなくても、曲の特徴を感じ取りやすくしている。
- ③学びをより深めるために、キャラクターの吹き出しによって学習を促す内容が示されていたり、これまでに学習したことをもう一度確かめるためのページが示されたりしている。また、「チャレンジ」として、より進んだ学習活動や、「ステップアップ」として、知識をより広げるための学習が示されている。児童が主体的に学習に取り組むための工夫がなされている。
- ④第6学年では、著作権について示されている。必要に応じて、学習に役立つ音楽や資料を見ることができるよう、ページ右上に二次元コードが示されている。創った音楽を即再生したり、各パートを入力すると、同時演奏したり、速さも変えたりすることができる。補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習の促進が期待できる。
- ⑤身の回りの音（低学年）地域の音楽・祭り（中学年）日本・世界の音楽（高学年）と発達段階に合わせて、音の面白さに気付いたり、調べ学習を通して地域の音楽への興味・関心を育てたりする内容が盛り込まれている。各学年の裏表紙に、郷土の祭りや芸能を受け継いでいる写真が掲載されている。玉野市の各地域でも、子どもたちが伝統や文化を継承していることと重ね合わせ、次世代の音楽文化の担い手となる態度を養う内容が充実している。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・学習のまとまりごとに、学習を振り返り、次の学習につなげていけるような内容が示されている。
- ・巻末には、「ふり返りのページ」や「リコーダーの運指表」、「いろいろな音符・休符・記号」等が掲載されており、6年間で学ぶゴールが明確に示されている。
- ・既習事項が色分けされていたり、当該学年の学習事項については、そのページが数字で示されたりしており、過去の学年で学んだことも復習することができるよう工夫されている。

(3) 総合所見

本出版社の特徴は、課題解決学習に力を入れているところである。各単元でどんな力を身に付けるか明確に書いてあることと、共に学ぶキャラクター達を設定することで、「見つける」「考える」「歌う」等の視点をもって、子どもたちが主体となって学習できるように工夫されている。

また、身の回りの音に興味をもたせ、繰り返したり、重ねたりする音楽づくりの活動を通して、音楽を身近に感じ、楽しむことができるようになっている。低学年で身の回りの音に興味をもたせ、中学年では祭りの学習をすることで、身の回りから地域へと視点を自然に広げられるような工夫もされている。

また、二次元コードを利用してタブレット端末で個に応じて学習を進めたり、深めたりできるようになっている。音楽編集や自動演奏ができるため、演奏能力に左右されることなく、どの児童も音楽づくりを楽しむことができるようになっている。

教科

図画工作

種目

図画工作

令和6使用小学校教科用図書研究報告書

教科 図画工作	種目 図画工作						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
9・開隆堂		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		105	106	305	306	505	506

(1) 内容の特徴及び表現

- ①基礎基本の定着に向けて、各題材では、学習のめあてが3観点で示されており、重点となるめあては下線で強調されたり対応したキャラクターによって学習のポイントが示されたりするなどの工夫がなされている。特に、巻末の「学びの資料」には、形や色等の造形要素、技法や材料、用具等についての分かりやすいイラストや写真を用いて基礎的・基本的な事項がまとめて示されている。
- ②知識技能を活用するために、各巻の「ひらめきショートチャレンジ」では、造形的な発想や技術獲得の方法を短時間で実験的に学ぶ活動が設定されており、技術の習得に効果的である。また、児童が、自ら思考し、判断、表現するために、「小さな美術館」のコーナーがある。表現の題材と一体的に扱える鑑賞作品が大きめの写真で取り上げられており、図画工作の見方や考え方が広がるような効果が期待できる。
- ③児童が、主体的に学習に取り組むために、各ページの題材の上に活動したくなるような呼びかけを設けている。また、各題材の右下部の「あわせて学ぼう」では、他教科等と関連付けて学習するためのヒントを紹介する活動を設定しており、学習に広がりをもたせることができるようになっている。
- ④情報活用能力の育成につなげられるよう、「つながる造形」では、身近な案内看板やマーク、公共の場所での設備の工夫、美術館の楽しみ方等、図画工作と社会との関わりの事例が紹介されているなどの配慮がされている。また、映像や写真、ワークシート等が、題材ごとにまとめられており、接続するための二次元コードが掲載されている。
- ⑤各巻の「みんなのギャラリー」では、玉野市の児童生徒にとって、地元の芸術家の方々との交流、特に備前焼の学びに大変効果的である。地元の陶芸家を招いて教えていただき、よりよい考えや作品作りに効果が期待できる。また、5・6年下の教科書の最後には図画工作の力を活かして職業に就いている人々を紹介している。このことは、これからの児童のキャリアにとって図画工作科を学習している意味について改めて考える機会となっている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・巻頭には、表紙の題字に連動した導入のページ、マークの紹介等が掲載されている。巻末は、1年間の学習を振り返る視点が示されている。
- ・各題材は、見開き2ページを基本に構成されており、児童の思いや工夫したこと等が、吹き出しや作品下のコメントとして記載されている。また、作品には、指示を明確にするための図版番号が付けられている。

(3) 総合所見

全体的に他教科や社会との繋がりを非常に意識できている教科書であり、これからの図画工作科が進むべき方向性がよく表れていると思う。

子どもの作品も多く、造形のアイデアがイメージできない児童にとっては親切であると思う。また、工夫したところや作品作りへの思いも書かれており、「なぜその作品になったのか」が考えやすい。

しかし、一方で作品づくりでのイメージが固定化されやすいとも考えられる。また、掲載されている作品は児童の創作を上達させる上で、指導の際に配慮が必要である。

令和6年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科 図画工作	種目 図画工作						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
116・日文		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		107	108	109	308	507	508

(1) 内容の特徴及び表現

- ①基礎基本の定着に向けて、各題材では、学習のめあてとなる項目がそれぞれの観点毎に分かりやすいマークで示されている。それぞれ3観点毎に設定されている項目も児童が理解しやすい記述となっている。また、作品例だけではなく、作品の製作途中の手元の写真や具体的なイラスト、「ねん土をあてて、ぎゅっ」などの言葉が多く記載されており、具体的な手順や技法活用のイメージがもちやすい。また巻末には、各学年で活用する「かく」「きる」「木の加工」などの技法ごとに手順や使用する道具の使い方などの基礎基本がイラストや写真を活用しながら分かりやすくまとめられている。
- ②知識技能を活用するために、各題材では、題材名の説明部分に、知識技能の活用のイメージをもち、イメージを広げることができる言葉や、発想や構想、表現のヒントとなる投げかけが記載されている。
- ③児童が、主体的に学習に取り組むために、題材名は、児童が興味をもつ表現のものが多く、使用される子どもの写真は、実際の製作途中の様子や作品で遊んでいる様子が分かりやすいアングルで表現されているものが多い。
- ④言語活動として、5・6年上の教科書には感じたことや思ったことを自由に話し合う「対話型鑑賞」の手法を取り入れた題材が設定されている。情報活用能力の育成については、題材毎に二次元コードの掲載があり、必要に応じて作品や技法、用具などについて確認できるようになっている。各巻の「広がる図工」では、美術館や身近なピクトグラム、生活で使う製品など図画工作と社会とのかかわりの事例が紹介されている。
- ⑤本市は瀬戸内国際芸術祭に参加しており、市内中心部には多くのアートが存在する。「教科書美術館」では、多くのアートが紹介されており、その活用方法によっては、児童生徒にとってよりアートを身近に感じることができるきっかけとなる。また前述の対話型鑑賞の手法を取り入れていることから、本市にあるアートを実際に活用して、そのような活動を行うということもアイデアとして挙げられるなど、本市の児童生徒にとっては、アートや美術、図画工作を通して地域を学ぶきっかけとなる。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・一貫したレイアウトは、活動内容の見通しがもちやすく、学習のめあてをもちやすい。掲載されている写真のサイズやレイアウト、文字の配置等については、それぞれの間に十分な余白が設けられているため、落ち着いた印象を受ける。ユニバーサルデザインの観点からも、刺激が少なく活動の見通しがもちやすいデザインとなっていると考える。
- ・各題材に掲載される写真は、作品例のみや子どもだけが記載されているのではなく、製作の手順の詳細が分かりやすいように、子どもの手元の写真等が掲載され、製作の工程がイメージしやすいものとなっている。

(3) 総合所見

本教科書は基礎基本の定着を図り、実感的な理解や創造的な技能を活用しながら、活動に望むことができる内容・構成となっている。特に一貫したデザインやレイアウトは作品製作の見通しを充分にもつことができるものとなっており、本市の児童の実態に即したものとなっている。

教科

家庭

種目

家庭

令和6年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科	家庭	種目	家庭						
発行者番号・略称				教科用図書番号					
2・東書				1年	2年	3年	4年	5年	6年
								503	503

(1) 内容の特徴及び表現

- ①すべての小題材の始めに「めあて」終わりに「ふり返ろう」が示されており、基礎・基本が定着できるように配慮されている。「いつも確かめよう」は、実習の際に絶対に気を付けなければならない事項を要所要所にまとめて提示しており、実習の度に必要な技能を確認することができるように工夫されている。
- ②児童が学んだ知識や技能を基にして考え、自分の言葉で表現できるように、具体的なレポートや表の記述例が掲載されている。
- ③「活動 深めよう」では、大題材全体の学びを生かして取り組む課題が設定されており、学習内容を生活に結びつけ、学びを生活に生かすための工夫がされている。「生活を変えるチャンス」を長期休暇の前に配列し、自分の課題を見つけ、課題解決に取り組むことができるようにしている。
- ④情報活用能力の育成につなげられるように、2次元コードがあるところではデジタルコンテンツを活用した学習ができるようになっている。
- ⑤日本の伝統についてのコラムが掲載されており、その題材に関係のある日本の伝統が紹介されている。「あなたは家庭や地域の宝物」という題材で、家庭や地域での自分の役割に目を向け、自覚し意識できるように工夫されている。また、コラム「プロに聞く！」として、関係する職業の人へのインタビュー記事を掲載し、キャリア形成に向けて仕事や生活への興味が高まるように工夫されている。本市で取り組んでいるキャリア教育の主旨にも沿った内容である。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・第5学年で8題材、第6学年で7題材から構成されている。学習内容、実習内容ともに基礎・基本から応用へと児童の発達段階に応じて、系統的に配列されている。
- ・題材ごとに「ステップ1 見つめよう→ステップ2 計画しよう→ステップ3 生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」という見出しがあり、「1 課題発見、2 課題解決・実践活動、3 評価・改善」の流れで学習を進めることができるように構成されている。学習の見通しが立てやすく、誰もが主体的に問題解決的に学習に取り組むことができるように工夫されている。
- ・「持続可能な社会の構築」という単元で消費者教育を大きくとり上げており、消費者としての基本的な知識や態度が身につくように配慮されている。
- ・独自に開発したUD教科書体を採用しており、読みやすい。また、材料の切り方や大きさの目安がわかるように実物大の写真を使用したり、左利きの例を掲載したりして、ユニバーサルデザインの視点でも配慮がされている。

(3) 総合所見

児童が主体的に学習を進める力を育てるために、問題解決の流れで展開されている。特に、毎時間の「めあて」がきちんと示されており、その時間の学習の目標をつかみやすく、児童が見通しをもって学習を進めることができる。また、その題材の学習やその学年の学習をふり返るページも充実している。長期休業前には、「夏休みわくわくチャレンジ」や「生活を変えるチャンス」が設定されており、児童が生活の中から自らの課題を見つけることを促し、家庭学習へとつなげていくための工夫がされている。全体を通して、必要に応じて文字の大きさを変えており、読みやすい。イラストの線もはっきりして見やすく、ユニバーサルデザインの視点でも配慮がされている。

令和6年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科 家庭	種目 家庭						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
9・開隆堂		1年	2年	3年	4年	5年	6年
						504	504

(1) 内容の特徴及び表現

- ①調理や制作等の実習手順図では、活動している児童視点の写真とともに見開きページを使って横に流れる記述がされており、手順を明確に理解し、基礎基本が定着するための工夫がなされている。また、実習後には「できたかな」を設けて、できるようになったことを振り返ることで技能の定着を確認できるように工夫されている。
- ②知識・技能を活用し、自分の考えを表現するために、児童同士で対話をしたり意見を交換したりできるような学習活動を多数取り入れている。児童が各自の学習用端末を活用し、話し合いや意見の共有により自らの考えを広げて深められるように工夫されている。
- ③児童が主体的に学習に取り組むために、「気づく・見つける→わかる・できる→生かす・深める」という3つのステップで学習を進めていくようになっている。それぞれにめあてが示されていて、見通しをもって学習に取り組んだり振り返ったりしやすい作りとなっている。また、「生活に生かそう」や「発展マーク」をつけたページを設けて、家庭での自主的な学習や発展的な学習を促す工夫がなされている。
- ④「レッツトライ！生活の課題と実践」の取り組み方を5つのステップで示してあり、問題発見・解決能力の育成が期待できる。家庭、学級単位、地域単位で行える実践の具体例の記述があり、例をヒントに取り組みやすい。
- ⑤衣食住に関連する文化についての特設ページが設けられ、47都道府県すべてを取り上げている。岡山県では「きびだんご」「祭ずし」が掲載されており、身近な地域に興味をもつとともに様々な地域を知ることによって日本各地へとより学びを広げることができる。また、伝統を受け継ぎ未来につなげる人等の、学習内容と密接につながる人への「キャリアインタビュー」が多く掲載されており、本市で取り組んでいるキャリア教育の主旨にも沿った内容である。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・5学年で11題材、6学年では9題材が設定されており、基礎的基本的内容の習得から応用・発展的な学習へと系統的に展開されている。
- ・巻末に実習・制作用の実物大の資料や左利き向けの資料等のページが設けられており、使いやすいものになっている。裏表紙の内側には、用語索引とインターネット資料の一覧があり、使いやすい。
- ・文の意味をつかみやすくするために、1つの単語が複数行に渡らないように調整してある。また、ユニバーサルフォントを使用し、本文以外の資料には囲んだり色を付けたりする等して区別できるように工夫されており、特別支援の観点に配慮されたレイアウトになっている。

(3) 総合所見

全体を通して、児童が主体的に学び、基礎基本を身に付けるための工夫がなされている。キャリア教育やSDGs、食物アレルギー等の現代的な話題や課題などを取り上げて、児童が関心を持って学習に取り組めるような工夫がなされている。実習に関わるページでは、手順が分かりやすいよう横へ流れる記述がされ、デジタルコンテンツも多数用意されている。また、内容が読み取りやすくなるよう文章や紙面の配置に工夫がなされており、すべての児童にとって分かりやすい教科書となっている。しかし、「学習のめあて」が単元のはじめにまとめて示してあり、毎時間ごとのめあてはないため、使用には配慮が必要である。

教科

体育

種目

保健

令和6使用小学校教科用図書研究報告書

教科 体育	種目 保健						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
2・東書		1年	2年	3年	4年	5年	6年
				306	306	506	506

(1) 内容の特徴及び表現

- ①基礎基本の定着に向けて、単元のはじめに必ず学習の進め方についての記述がされている。①気づく・見つける、②調べる・解決する、③深める・伝える、④まとめる・生かす、の4つの学習過程で構成され、「まとめる・生かす」では、単元の重要な部分の確認や振り返りを記入する工夫がなされている。
- ②健康についての課題をつかむために、毎単元で「気づく・見つける」が1ページや見開きで構成されている。また、自分が気づいたり、考えたりしたことを書く欄がそれぞれのページで設けられている。「深める・伝える」では、友達と相談して、考えて書く欄もあるため、児童同士の対話も生まれやすいことが期待できる。
- ③児童が、主体的に学習に取り組むために、単元のはじめに学習の課題が示されている。単元の終末には、学習内容をより実生活に近くするための資料が掲載されている。また、単元のどの部分と資料が関連あるのかを示しているため、児童が自分で資料の活用をすることが期待できる。
- ④情報活用能力の育成につなげられるよう、学習内容と他教科・学年との関連やSDGsとの関連について示されている。さらに、小単元の終末には、学習内容をもとに考え、筋道を立てて説明できるよう「深める・伝える」が設定されている。また、二次元コードから見られる資料や動画があり、一人一台端末の有効な活用にもつながると考えられる。
- ⑤様々な資料の中で日本各地での取組を紹介していることで我が国のよさについて実感することが期待できる。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・表紙や教科書内で、様々な年齢・性別・国籍の人物や障がいがある人のイラストが描かれており、多様性の理解につながることを期待できる。
- ・学習している内容のすぐ横に関連している資料のページが掲載されているため、資料の活用がしやすい。
- ・文章においては、重要な語句が太字で示されているため、わかりやすい。しかし、書体は教科書体やゴシック、UDフォントなど、場所によってさまざまであるため、読みにくい児童もいることが予想される。

(3) 総合所見

①気づく・見つける、②調べる・解決する、③深める・伝える、④まとめる・生かす、の4つの学習過程で構成され、「まとめる・生かす」では、単元の重要な部分の確認や振り返りを記入する工夫がなされているため、毎単元で同じように学習を進めていくことが可能である。また、「気づく・見つける」が1ページや見開きで構成されていたり「深める・伝える」では、友達と相談して、考えて書く欄もあつたりと教科書が有効に活用できると考えられる。しかし、書体は教科書体やゴシック、UDフォントなど、場所によってさまざまであるため、読みにくい児童もいることが予想される。

令和6使用小学校教科用図書研究報告書

教科 体育	種目 保健						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
4・大日本		1年	2年	3年	4年	5年	6年
				307	307	507	507

(1) 内容の特徴及び表現

- ①基礎基本の定着に向けて、単元のはじめに、学習する内容の具体的な説明が書いており、見通しをもって単元の学習に入れると考えられる。1単位時間の中では、「見つける・考える、やってみる・まとめる・広げる、深める」の4つの学習過程で構成されている。単元の終末には、学習内容の振り返りや、今後活かしたいことを記入する「学年のまとめ」が設けられている。
- ②知識技能を活用するために、学習内容を基に生活を振り返って、自分の考えを記入する欄が設けられている。また、生徒が、自ら思考し、判断、表現するために、巻末には、これからの生活で知りたいことや、やりたいこと、夢等を記入する欄が設けられている。しかし、知識技能の活用、思考・判断・表現ともに記述する欄の数が少ないため、別途ワークシート等を準備する必要があると考える。
- ③児童が、主体的に学習に取り組むために、「とびら、学習ゲーム」が単元のはじめに設定されており、興味をもって課題を見付けることができる。また、各単元の終末には、「もっと知りたい」のコーナーが見開き（2ページ分）あり、発展的な学習内容の資料が示されている。
- ④各ページ下部の「ミニちしき」では、学習内容に関連した情報が示されているため、言語能力の育成が期待できる。また、巻末にパソコンやスマートフォンとの正しい付き合い方が掲載されているため、正しい情報活用能力が身に付くと予想できる。
- ⑤保健と「毎日の生活」「地域」「世界」との関わりが紹介されていたり、保健とSDGsとの関わりについて日本と世界の取組が示されたりしている。しかし、いずれも巻頭や巻末に集中しているため、毎時間の授業の中で児童の目に触れる機会は少なくなると予想される。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・巻頭に「おりこみカード」が付属しており、学習で活用したり、学習後にも児童が携帯することで活用したりすることができるかと期待される。また、「おりこみ」を毎時間のはじめに使うことで、「つかもう」に集中して取り組むことができる。
- ・巻頭では、児童に馴染みのあるスポーツ選手の写真やメッセージがあるため、意欲をもって学習に取り組むことが期待される。
- ・文字の大きさが大きめであるため、読みやすい。しかし、重要な語句なども他と同じ示し方であるため、どこが重要かを教師が適切に伝えていく必要がある。

(3) 総合所見

「とびら、学習ゲーム」が単元のはじめに設定されていたり、「おりこみ」を毎時間のはじめに使ったりすることで、児童が学習に向かいやすい工夫が見られる。

単元のはじめに、学習する内容の具体的な説明が書いていたり、1単位時間の中で、常に4つの学習過程で構成されていたりするため、児童が見通しをもって学習に取り組むやすいと考えられる。しかし、知識技能の活用、思考・判断・表現ともに記述する欄の数が少ないため、別途ワークシート等を準備する必要があると考える。

文字の大きさが大きめであるため、読みやすい。しかし、重要な語句なども他と同じ示し方であるため、どこが重要かを教師が適切に伝えていく必要がある。

令和6使用小学校教科用図書研究報告書

教科 体育	種目 保健						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
50・大修館		1年	2年	3年	4年	5年	6年
				308	308	508	508

(1) 内容の特徴及び表現

- ①基礎基本の定着に向けて、ステップ1（学習の見直しをもつ）→ステップ2（学習の課題を解決する）→ステップ3（学習をまとめる）の構成にすることで、学習の流れが分かりやすくなるように配慮されている。また、全単元を3ステップのシンプルな学習過程にしているため、教材研究の時間短縮に繋がったり、児童が見直しをもって学習に臨んだりすることができる。
- ②知識技能を活用するために、各章の最後に「学習をふり返ってみよう」というページがあり、知識の定着を図りつつ、学習したことを現在や将来の生活に生かすことができるように工夫している。また、児童が、自ら思考し、判断、表現するために、イラストやグラフをもとに、考えたことを記入する欄が各ページにあるので、自分の考えをまとめたり、他の人と考えを比べたりして思考を広げたり、深めたりすることができる。
- ③児童が、主体的に学習に取り組むために、各章の導入となるとびらのページで、健康や安全について、著名人との対話形式で取り上げているので、学習内容に興味・関心をもって主体的な学びをスタートすることができる。
- ④情報活用能力の育成につなげられるように、「やってみよう」の活動が設定されており、資料や調べたことをもとに実際に体を動かして技能を身につけることができるように工夫されている。
- ⑤日本の代表として、オリンピックで活躍した選手のインタビューが随所に掲載されているので、玉野市の児童生徒にとって、我が国の伝統・文化について触れる機会に繋がっている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・全単元を通して、ステップ①→②→③の学習の流れに統一しているため、見直しをもって学習を進めることができるように工夫されている。
- ・単語や文節が行をまたいで分かれられないように改行していたり、UD フォント、カラーユニバーサルデザインを採用したりするなど、全ての児童にとって見やすく、分かりやすい工夫がされている。
- ・考えたことを記入する欄が各小単元にあるが、書くことのできる分量が統一されていないため、分量が少ない単元では、別途でワークシート等を用意する必要がある。

(3) 総合所見

各章の最後に「学習をふり返ってみよう」というページがあり、知識の定着を図りつつ、学習したことを現在や将来の生活に生かすことができるように工夫していたり、主体的に学習に取り組むために、各章の導入となるとびらのページで、健康や安全について、著名人との対話形式で取り上げていたり、キャリア教育を推進する観点からも有意義なことであると考えられる。

イラストやグラフをもとに、考えたことを記入する欄が各ページにあるので、自分の考えをまとめたり、他の人と考えを比べたりして思考を広げたり、深めたりすることができるが、単元によって記入できる分量に差異があるため、各時間の学習活動の進め方を統一する等の配慮が必要である。

令和6 使用小学校教科用図書研究報告書

教科 体育	種目 保健						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
207・文教社		1年	2年	3年	4年	5年	6年
				309	309	509	509

(1) 内容の特徴及び表現

- ①基礎基本の定着に向けて、各単元の導入では、学習に関連する写真が見開き1ページで示されているので、学習内容と自分の生活と重ね合わせながら課題を設定することができる。また、1単位時間ごとに、「本時の Menu」として学習計画が設定してあるので、児童は学習の見通しをもって取り組むことができる。
- ②知識技能を活用するために、実際に腹式呼吸をやってみたり、簡単な手当をしてみたりするコーナーを設けることで、様々な対処の方法を身に付けることができるような工夫がされている。また、児童が、自ら思考し、判断、表現するために、各単元の終わりには、「わたしの〇〇宣言」として記述するページを設けることで、単元の学習と今までの生活をふり返り、これからの自分の課題を考え、表現することができる。
- ③児童が、主体的に学習に取り組むために、イラストやキャラクターを効果的に活用することで、児童が主体的に課題解決学習に取り組んだり、自分の興味・関心に応じて学びを広げ、深めたりすることができるよう工夫されている。
- ④情報活用能力の育成につなげられるよう、学習のめあてに応じて、グラフや図・写真などの資料をページいっぱいに掲載し、様々な視点から課題解決を行うことができるよう工夫されている。しかし、そこから考えた自分の考えを記述する欄が少なく、別途でワークシート等を用意する必要がある。
- ⑤SDGs などの様々な取り組みについて、日本国内だけでなく、世界各国で行っている活動を紹介することで、国内外の伝統・文化について触れる機会に繋がっている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・1単位時間ごとに、「本時の Menu」として学習計画が設定してあるので、児童は学習の見通しをもって取り組むことができる。
- ・UD フォントを採用したり、カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮して編集したりと、全ての児童にとって見やすく、分かりやすい工夫がされている。
- ・グラフや図・写真などの資料がたくさん掲載されており、様々な視点から課題解決を行うことができるよう構成されている。しかし、そこから考えた自分の考えを記述する欄が少なく、別途でワークシート等を用意する必要がある。

(3) 総合所見

各単元の導入で、学習に関連する写真から、学習内容と自分の生活とを重ね合わせながら課題を設定したり、1単位時間ごとに、「本時の Menu」として学習計画が設定してあるので、児童は学習の見通しをもって取り組んだりすることができる。また、各単元の終わりには、「わたしの〇〇宣言」として記述するページを設けることで、自分の課題として考えを深め生かしていけるような構成になっている。そして、学習のめあてに応じて、様々な視点から課題解決を行うことができるように、グラフや図・写真などの資料が豊富に掲載されている。しかし、そこから考えた自分の考えを記述する欄が少なく、自分の考えをまとめたり、他の人と考えを比べたりして思考を広げたり、深めたりすることが難しい。

令和6使用小学校教科用図書研究報告書

教科 体育	種目 保健						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
208・光文		1年	2年	3年	4年	5年	6年
				310	310	510	510

(1) 内容の特徴及び表現

- ①基礎基本の定着に向けて、学習内容を確認めやすいように、学習のまとまりに☆マークが付けられており、学習内容に関わりのある仕事をする人の話や学習内容の理解を深めることができる「科学のとびら」という科学的な資料が示されている。また、単元の終末には、大切な言葉を確認する「学習のまとめ」が設定されている。
- ②知識技能を活用するために、「学んだことを生かそう」のコーナーが設けられ、学習内容を自分の生活にどのように生かしたいかを考えて書き込む欄が設けられている。また、児童が、自ら思考し、判断、表現するために、各単元の終末には、「さらに広げよう、深めよう」のページが設けられている。
- ③児童が、主体的に学習に取り組むために、巻頭には、学習を進めるための内容やポイントが示されている。また、学習課題をつかみやすくするための単元の導入が4コマ漫画の形式によって示されている。
- ④情報活用能力の育成につなげられるよう、各授業に二次元コードが設けられており、一人一台端末の有効な活用が期待できる。また、「話し合おう」の活動では、具体的なテーマが設定されており、自分の考えを伝えることで言語能力の育成が期待できる。
- ⑤自分ができる取組について考えることができるため、3・4年生ではSDGsの取組の中の「安全な水とトイレを世界中に」5・6年生では「すべての人に健康と福祉を」のそれぞれの課題が巻末に設定されている。しかし、巻末のみでしか取り上げられていないため、単元の中では、児童の意識がSDGsには向きにくいと考えられる。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・全単元を通じて、「4コママンガ」からスタートすることで、児童が興味を引き、主体的に取り組むことができる工夫がされている。
- ・児童が主体的に取り組むことができるように、巻頭では、各界の著名人の写真やその方々からの言葉が取り上げられている。
- ・1単位時間の流れが統一されていなかったり、ページ数が2ページの時もあれば、3、4ページの時もあったりするため児童が見通しをもって取り組むことができづらい。また、ページによって情報量の差異があるため、ページによって読みづらいつと感じる児童がいると予想される。

(3) 総合所見

単元の導入が4コマ漫画の形式によって示されており、学習課題をつかみやすくなっている。また、「学んだことを生かそう」のコーナーが設けられ、学習内容を自分の生活にどのように生かしたいかを考えて書き込む欄が設けられていたり、学習内容の理解を深めることができる「科学のとびら」という科学的な資料が示されたりしている。しかし、SDGsに関しては、巻末のみで取り上げられているため、単元の中では、児童の意識がSDGsには向きにくいと考えられる。

1単位時間の流れが統一されていなかったり、ページの量がちがったりするため、児童が見通しをもって取り組むことができづらい。また、ページによって情報量の差異があるため、読みづらいつと感じる児童がいると予想される。

令和6使用小学校教科用図書研究報告書

教科 体育	種目 保健						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
224・学研		1年	2年	3年	4年	5年	6年
				311	311	511	511

(1) 内容の特徴及び表現

- ①基礎基本の定着に向けて、教科書の使い方や保健の学び方について、最初のページに記され、見直しをもって学習に入ることが期待できる。また、ピース3に「ほけんのはこ」というページが設けられ学習内容の定着が期待できる。
- ②知識技能を活用するために、ピース3に、ここまで学習したことを、実践的な課題解決の力を身につけられるページが設けられている。単元の終わりに「もっと知りたい・調べたい」のコーナーが設けられており、より学習を深めることが期待できる。また、児童が、自ら思考し、判断、表現するために、ピース2で自ら考えたことを記入するページが設けられ、自分の考えをまとめたり、友だちの考えと比べたりして思考を広めたり、深めたりすることができる。
- ③児童が、主体的に学習に取り組むために、単元の最初のページに内容に関連のある写真やイラストが示され、短時間で興味関心を高めたり、課題に気づいたりできるように工夫されている。また、授業の流れが3つのピースで構成されており、課題解決型の授業が展開できるように構成されている。さらに、単元のはじめに「つなぐ」の欄があり、他教科との関連も図られている。
- ④情報活用能力の育成につなげられるよう、デジタル教材などは学習効果の高い物が提示され、適切に提示されている。また、二次元コードから見られる動画などがある。
- ⑤3・4年生で給食や家庭料理から郷土料理を見付ける取組が、5・6学年では世界で流行した感染症の歴史や、医学や保健の分野で世界的な活躍をする日本人が取り上げられている。玉野の子どもたちにとって日本や世界に目を向ける良い機会となることが期待できる。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・特別な支援を要する児童が使いやすいように、UD フォント文字の使用、書き込みしやすい紙質、オフホワイトの色合いとなっている。また、単元毎に学習の流れや目標、1単位時間毎の「学習の進め方」が示されている。
- ・教科書に直接書き込むことができるため、ワークシートの準備が不要である。
- ・「つなぐ」のアイコンが使われ、各教科との関連が紹介されている。また、「かがくの目」のアイコンが使われ、科学的な資料が掲載されている。

(3) 総合所見

基礎基本の定着に向けて、教科書の使い方や保健の学び方について、最初のページに記されていて見直しをもって学習に入ることが期待できる。

全単元が3つのピースで構成されており、児童が課題に気づき、考え、話し合うという課題解決型の授業が展開できるように構成されている。

情報活用能力の育成につなげられるよう、デジタル教材などは学習効果の高い物が提示され、適切に提示されている。また、二次元コードから見られる動画などもあり、児童の学習が深まることが期待できる。

記入欄が適度に設けられており、ワークシート等を準備する必要が無い。

短時間で興味関心を高めたり課題に気づいたりできるページが設けられている。

教科 特別の教科道徳

種目 道徳

令和6使用小学校教科用図書研究報告書

教科	特別の教科	道徳	種目	道徳					
発行者番号・略称				教科用図書番号					
2・東書				1年	2年	3年	4年	5年	6年
				1 1 2	2 1 2	3 1 2	4 1 2	5 1 2	6 1 2

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 巻頭の「どんな学びをするのかな」では、学び合いの進め方が紹介され、対話的な学習になるように工夫されている。教材末に、導入で主題に関わる投げかけや展開での発問例が示されていて、授業の流れが作りやすくなる。児童が、主体的に考えを進めていくことで、道徳的価値の理解につながり、自己を振り返りやすくなっている。
- ② 心の視覚化として、「考えるためのツール」を活用することで、自分の考えを表現しやすくなる。それにより、友達のと考えと比較しやすくなったり、議論が活性化されたりして、自分の考えが深まるような支援がなされているので学習活動が活発になる。巻末の「学習の記録」では、学期の終わり等を書くことができるようになっていて、改めて学習を振り返ることで、心の成長を実感でき、心に残ったことや生活に生かしたいと思ったことなどが、言葉として残せるようになっている。
- ③ 「つながる・広がる」では、具体的な生活における実践例が示されることで、他教科との学習とつなげたり、家庭でも調べたりすることができる。授業で学んだことを確かめたり、実際に感じたりしながら、考えを発展させていくことができるようになっている。デジタルコンテンツを利用することで、主体的に調べることができるようになり、学習の広がりが期待される。
- ④ 「問題を見つけて考えよう」では、問題に気づき、みんなと話し合うことで、自分なりの考えを広げたり、深めたりできるようになっており、問題発見・解決能力を育成する活動の内容が示されている。また、「演じてみよう」では、それぞれの立場になりきることで、自分事として捉えられるようになるのではないかと考える。したがって、問題解決的な学習等、多様な指導方法が期待できる。
- ⑤ キャリア教育のテーマが充実しており、玉野市の児童にとって「これからの自分」を考えることに効果が期待される。また、世界で起こっている問題に目を向けられるような教材や、現在活躍されている人物の姿から、自己の生き方を考える機会となる。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・ 4つのマークと色で示されているので、内容項目が意識しやすい。
- ・ 5つのユニット（安心・安全、情報等）が編成され、適切な時期も示されている。
- ・ 全ての教材に二次元コードがあり、ワークシートをダウンロードでき、授業づくりの参考になる。
- ・ 分かりやすい挿絵や、導入で動画を使うことで、学ぶ意欲を高める工夫ができる。

(3) 総合所見

これから課題となる現代的な問題や定番教材等、児童にとって魅力的な教材があり、今の社会を生きる児童が、問題意識をもって学習が進められ、自己の生き方について考えが深められるようになっている。心情円や役割演技など、柔軟で多様な学習活動が考えられるようになっている。また、学校だけでなく、家庭でも活用できるデジタルコンテンツの充実により、自ら情報を活用しながら、考え続けることができるような創意工夫がなされている。

令和6使用小学校教科用図書研究報告書

教科 特別の教科 道徳	種目 道徳						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
17・教出		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		113	213	313	413	513	613

(1) 内容の特徴及び表現

- ①巻頭の「道徳ではこんな学びをするよ」では、学習の仕方から今日の学習の振り返りまでの1時間の授業の流れが紹介されていることで、学習の見通しがもちやすく、児童自身が学習を進められるようになっている。学習パターンを繰り返すことで、自ら考える力を養うことができるようになっている。
- ②導入では、教材初めに、キャラクターによる主題に関する問いかけがあることで、児童が問題意識をもって、教材を読むことができるようになっている。また、教材末の「考えよう」「深めよう」では発問が示され、展開で、考えを広げたり、深めたりできるように工夫されている。終末では、自己評価欄があることで、児童なりの表現で、自由に書き込めるようになっているが、毎時間取り組むには困難さがある。
- ③巻頭の「道徳の学習をもっと広げよう」では、まなびリンクの利用について、「タブレットを学習に生かそう」では、活用について紹介されている。また、教材の後の「コラム」を設けることで、学びをさらに深めたり、新たな考えを広げたりすることができるようになっている。
- ④「問題を解決しよう」では、問題を見つけ、解決方法を考え、生かすという流れが示されていることで、解決策を多面的・多角的に考えることができるよう工夫されていて、問題発見・解決能力を育成する活動が充実している。「体験的な学習」として、モラル、スキル、トレーニングや役割演技等が紹介されている。
- ⑤偉人を扱う教材が多くあり、我が国や郷土、国際社会で活躍した人物の生き方から自己の生き方を見つめ、国や郷土を愛する心情や国際社会の中で平和と発展に寄与する態度を学ぶ内容が充実している。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・本教材30本と補充教材5本で構成しており、学校によって地域教材に差し替えることができるので、学校の実態に合わせて指導することができる。
- ・重点テーマ（いじめ、自然等）には、連続して学習できるように配列されている。
- ・まなびリンクを活用することで、自主的な学習が促されるようになっている。
- ・用紙の紙質が若干薄く、写真が裏から見えるところがある。

(3) 総合所見

今日的な課題を重点テーマとして扱うことで、問題を自分事として捉え、学び合いの中から考えを深めていくことができるようになっている。活躍されている人物の動画や写真等、児童にとって学ぶ意欲が高まるように工夫されている。また、モラルスキルトレーニング等が紹介されているので、取り入れることができれば、多様な指導方法になることが考えられる。

令和6使用小学校教科用図書研究報告書

教科 特別の教科 道徳	種目 道徳						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
38・光村		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		114	214	314	414	514	614

(1) 内容の特徴及び表現

- ①巻頭に「道徳が始まるよ」「道徳みちあんない」のページがあり、オリエンテーションとして活用することができる。くわしく学習内容が示されているため、児童が見通しをもって学習に取り組むことができる。また、「考えよう」「話し合おう」「つなげよう」では、道徳的価値につながる問いが示されている。
- ②「考えるヒント」「しつもんじゅんびたいそう」「考える準備体操」では、友達との話し合いの進め方などの学習活動が具体的に示されており、児童が自分の考えを表現したり友達の考えを聞いたりすることができる。これらの活動を通して自分の考えを広げ、道徳的価値の理解を深めることにつながる。
- ③情報モラルについて各学年1題ずつ掲載されており、題材前に「情報と向き合う」が示されていたり、日常生活からコラムとして情報を取り入れたりするなど工夫がある。SDGsとの関連ページはマークで示されているが、目次には示されていないため、分かりにくさを感じる。
- ④「心を通わそう」では、友だちへの声掛けの仕方などが具体的に示されており、ソーシャルスキルトレーニングとしても活用することができる。また、付録の「学びの道具箱」では、「ピラミッドチャート」「フィッシュボーン」「シャッフル対話」「インタビュー対話」など、自分の考えを整理したり深めたり、話し合ったりする方法が示されており、問題解決能力の育成が期待できる。
- ⑤国際社会で活躍するスポーツ選手や偉業を成し遂げた歴史上の人物など、郷土の文化について扱う教材があり、豊富な写真から児童の興味を引き出し、キャリア教育につなげることができる。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・全35教材（1年生34教材）と付録が設けられている。
- ・低、中学年は学期ごとにシールを貼ることで、高学年は1年を通して一言感想を記録することで学習を振り返ることができる「学びの記録」が設けられている。
- ・共通する主題の教材を連続して扱い、問題意識を継続しながら考えを深めていくような配列がされている。
- ・1年間を3つのテーマに分けており、児童の学びが段階的に高まるように配列されている。

(3) 総合所見

低中高それぞれの発達段階に応じた教材が選定されている。学び方に関する資料が充実しており、自分の考えを深めたり整理したりすることを学年に応じて指導することができ、他教科でも使えるスキルを育てることができるようになっている。教材や発問の分量が多いため、内容を理解することに時間がかかることが懸念される。

令和6使用小学校教科用図書研究報告書

教科	特別の教科	道徳	種目	道徳				
発行者番号・略称			教科用図書番号					
116・日文			1年	2年	3年	4年	5年	6年
			115	215	315	415	515	615

(1) 内容の特徴及び表現

- ①巻頭の「道徳の学び方」をオリエンテーションで使用することで、考えを深めるための具体的な学習方法を児童と確認することができ、児童が見通しをもって学習を進めることができる。また、「考えてみよう」「見つめよう・生かそう」では、道徳的価値に迫ることのできる発問が示されている。
- ②「ぐっと深める」では、役割演技や話し合いの方法について写真付きで具体的に示されている。役割演技をしている児童、見ている児童に対する発問も示されており、問題解決に向けて様々な活動を行うヒントになる。またデジタルコンテンツの心情メーターを、自分の考えを表現するツールとして使うことができる。
- ③教材がアニメーション化されているものや登場人物からのメッセージ動画、情報モラルの〇×クイズなどのデジタルコンテンツが充実しており、児童の教材への興味が高まることにつながる。また、「心のベンチ」や3～6年生の「SDGsで考えよう」では、世界人権宣言や環境問題について触れており、他教科にわたる学習を展開しやすいように工夫している。
- ④巻末の「見つけた！ここにも道徳」では、「深い思いやり」「節度ある生活」などのさまざまな道徳的価値を感じることのできる様子を写真と吹き出しで示している。学習内容と日常生活を結びつけ、問題発見能力を育成することが期待できる。
- ⑤郷土や世界の文化、国際社会で活躍しているアスリートをテーマにした教材が掲載されており、キャリア教育につなげることができる。また、その地方特有の文化についても取り上げており、玉野市の文化や自然につなげることができやすい。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・ノートの中に授業を振り返り評価する欄があるが、丸印だけなので、児童が記録しやすい。
- ・ノートの二次元コードを読み取り、ワークシートをタブレットで使用することもできる。
- ・書体を教科書体になっているため、読みやすく感じる。
- ・別冊で道徳ノートがあるが、1つの教材について白紙の欄と罫線が引いてある欄とが設けられている自由度の高いノートになっている。そのため、自分の考えを文章で表現しにくい児童にとっては難しさを感じる事が懸念される。

(3) 総合所見

学習活動が具体的に示されており、児童が学び方を獲得していくことができるようになっている。また、デジタルコンテンツを効果的に活用することで、児童が主体的に学習に取り組んだり、家庭学習で使用したりしやすくなると思われる。さらに、ふろくのページによって、道徳で学んだことがより身近に感じられるような工夫がされている。

令和6使用小学校教科用図書研究報告書

教科	特別の教科	道徳	種目	道徳					
発行者番号・略称				教科用図書番号					
208・光文				1年	2年	3年	4年	5年	6年
				117	217	317	417	517	617

(1) 内容の特徴及び表現

- ①どの学年も巻頭に授業の進め方が示されていること、教材ごとに「かんがえよう」「まとめよう」「ひろげよう」の項目がパターン化して示されていることで、道徳の授業が毎時間、どのように進められていくのか見通しをもちやすくなるよう工夫されている。
- ②道徳的価値に迫るために、心情円やスケールで気持ちの変化や葛藤場面を可視化しやすくなるツールがたくさん例示されている。ウェビングや役割演技など、様々な活動で自分の考えを表現できるようになっている。教材ごとの登場人物が文頭にピックアップされているので、教材の内容を把握し、自分事として考えやすくなっている。
- ③児童が主体的に取り組むことができるよう「学びの足あと」で記録ができるページが設けられている。中学年以降になると、矢印で授業後の自分の気持ちの変化を記録できるようになっている。「ひろげよう」では、学習した道徳的価値について、日常生活や他教科とつなげたり広げたりして考えられるよう工夫されている。
- ④教材とつなげた「へこんでも たちなおろう」のコラムが設けられている。自分の良さに目を向けることやしなやかに生きるための心のもち方などを各学年の発達段階に応じて考えられるよう工夫されている。チャート図や心情曲線など思考を整理したり深めたりできる手段がたくさん例示されているので、自分にあった解決方法を選ぶことができる。
- ⑤「お話とつなげて、考えを広げたり、深めたりしよう」のコラムでは、SDGs や郷土について触れられている。教材を学習したときに、玉野市に置き換えて考えることができやすい。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・児童の実態に合わせ、特に考えさせたい内容を「重点主題」として取り上げ、多面的、多角的に考えられるよう構成されている。
- ・ジェンダー平等や LGBTQ について発達段階を踏まえ、6年間の見通しをもって他者との関わりについて考えることができるよう構成されている。
- ・教材ごとに低学年は表情で、中学年以降は矢印で気持ちを記録することができるよう「学びの足あと」を残すことができるようになっている。

(3) 総合所見

児童がこれからの社会を生きていく中で、道徳的価値の良さや自己の生き方を考えられるよう、道徳での学びと日常とがつなげられるようになっている。授業の流れがパターン化されているので、児童は見通しをもって学習に臨むことができる。また、発達段階に応じて、心情円やスケール、チャート図などツールがたくさん例示されているので、思考の整理がしやすい。一方で、ソーシャルスキルトレーニングや役割演技など道徳的価値に迫るための手段が少なく、多様な学習になりにくい。

令和6使用小学校教科用図書研究報告書

教科 特別の教科 道徳	種目 道徳						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
224・学研		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		118	218	318	418	518	618

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 巻頭に「道徳の時間が始まるよ」という道徳の学び方に関するページがあり、導入で使用することで、児童が主体的に学びに向かうためにはどうすればよいかを確認することができるようになっている。
- ② いのち、多様性、キャリア教育、情報モラル、いじめ防止等、豊富なテーマに対応した教材を通して、現代的課題を自分事として考えられるように内容の充実や創意工夫がなされている。また、教材末に、自分の考えの変化や深まりを確認する問いが示されており、自己を見つめることで、道徳の学びを深めることができる。
- ③ 「心のパスポート」のページで教材と関連した情報が示されていたり、教材についている二次元コードを読み込むことで写真や動画、ワークシート等が見られるようになっていたりしている。教材のイメージを膨らませやすくなったり、考えを可視化しやすくなったりしており、児童が主体的に考える手立てとなっている。
- ④ 「深めよう」では、学年に応じて学びを深めるためのステップ（「つかもう」「さがそう」「見つめよう」）が示されており、問題発見・解決能力の育成が期待できる。また、全学年で発達段階に応じた情報モラルに関する教材が取り入れられており、情報活用能力を育成する内容が充実している。
- ⑤ 現代的課題や様々なジャンルで活躍する人物が取り上げられており、時代にあった多様な学びが期待できる。また、自分が住む町の魅力や祭、伝統工芸品にまつわる話を通して考える教材が選定されており、玉野の良さを再発見することにつながる。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・ 全35(1年は34)の教材が示されており、4つの内容項目がマークと色で分けられ教材のページに反映されていてわかりやすい。
- ・ 11のテーマにマークが決められており、目次や教材に付されていて、わかりやすくなっている。
- ・ 重点的なテーマ（「共に生きる」「いのち」「未来に向かって」）は、どの学年でも連続して配置されていて、学びを深められるようになっている。
- ・ 教材に応じて、適切な挿絵や写真が使われており、視覚的に捉えやすくなっている。

(3) 総合所見

発達段階に応じた様々な内容の教材が、内容項目やテーマに沿ったマークで示されている。また、デジタルコンテンツの資料を用いることで、児童がより道徳的価値に迫りやすくなるよう工夫されている。題材名の下の部分にキーフレーズがあり、児童が意欲的に読みたくなるよう工夫されているが、必ずしも道徳的価値やテーマに関わるものではないので、指導する際、焦点がぶれてしまう可能性があることが懸念される。

教科

外国語

種目

英語

令和6使用小学校教科用図書研究報告書

教科 外国語	種目 英語						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
2・東書		1年	2年	3年	4年	5年	6年
						509 510	609

(1) 内容の特徴及び表現

- ①「Starting Out」では、単元で扱う表現に出会う活動が設定されている。「Let's Chant」や「Let's Sing」を通して何度も表現に触れる機会が作られている。「Your Turn」で、さらに表現をアウトプットしながら習得する機会が繰り返し設定されており、基礎の定着に期待できる。第6学年では、読むこと書くことの活動も取り入れられている。「Sound and Letters」では、音声を聞きながら文字に慣れ親しむことができる学習が設定されている。
- ②「Enjoy Communication」では、対話から始まり、やりとりや発表する活動が設定されている。「Check Your Steps」では、既習内容を振り返り、内容を整理した後、グループや個人で発表する活動が設定されており、思考・判断・表現するための工夫がみられる。
- ③別冊「My Picture Dictionary」には、自分が調べた単語を書き込むことができる「マイ単語」が設定されており、児童が主体的に言語に親しむための工夫が見られる。「Small Talk」では、単元の目標に関連したテーマが示されている。
- ④各単元の最初に関連する教科名や、「Our Goal」が示されており、他教科で学んだことを生かしながら、単元の目標に向かって学習することが意識しやすくなっている。
- ⑤5年生の「Welcome to Japan」では、世界に影響をあたえている日本文化について触れられており、6年生の「Where is it from?」では、日本と世界のつながりが紹介されている。「Over the Horizon」では、海外や日本の各地方の映像等から言葉の背景にある文化を知る活動が設定されている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・各単元は、「Starting Out」「Your turn」「Enjoy Communication」「Over the Horizon」の4セクションで構成されており、目標達成までの流れが分かりやすく示されている。
- ・別冊「My Picture Dictionary」があり、自分が調べた単語を書き込むことができるようになっている。
- ・二次元コードが配置され、コードを読み込むと単元のまとめりごとにリンクが設定されている。

(3) 総合所見

本書は、「Starting Out」「Your turn」「Enjoy Communication」「Over the Horizon」のセクションの構成により、目標達成までの流れを児童が意識しやすいものになっており、各セクションで、児童が身につけるべき内容も分かりやすく提示されている。また、別冊「My Picture Dictionary」では、自分が調べた単語を書き込むことができるなど、児童が主体的に言語に親しむための工夫が見られる。「Over the Horizon」では、SDGsに触れるなど、国際社会の一員としての自覚を養うために適した題材が多数取り上げられている。

令和6使用小学校教科用図書研究報告書

教科 外国語	種目 英語						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
9・開隆堂		1年	2年	3年	4年	5年	6年
						5 1 1 5 1 2	6 1 1 6 1 2

(1) 内容の特徴及び表現

- ①見開き1ページで1時間の授業の流れになっていて、それぞれの場面で何をするのか細かく指示があるため、児童も授業の見通しが立ち、教師も指導がしやすい。また、別巻で単語本がそれぞれの学年についており、単語の学習に役立てることができる。話したり聞いたりする活動が多く設けられており、基礎の定着に効果的である。
- ②既習の言語材料を使って自分のことを伝える活動が設定されており、児童が自ら表現できるような工夫が見られる。
- ③巻末には、CAN-DO チェックのページを設けており、児童自ら学習を振り返って、がんばったことや、できるようになったことなどを記録に残し、次の学びへつなげていくことができるように工夫されている。
- ④各単元の終わりには、世界中の国や文化、人々について書かれているページがあり、自分たちのことを伝えるだけでなく、世界と比較をすることでより深く学べるように構成されている。
- ⑤「ジェスチャーゲームをしよう」といった、細かな指示も教科書の流れに組み込まれているが、児童の実態によっては、難しい活動もでてくる可能性もあるので、工夫が必要である。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・内容や表現及び、学習の流れが適切で児童が学習しやすいものになっている。
- ・写真やイラストが多く、児童にとって分かりやすく楽しく学習することができるが、いろいろな種類のイラストがあるため、少し雑然とした雰囲気になっている。
- ・各ページに二次元コードがついており、歌やリスニング問題などを授業外でも視聴することができるようになっている。ただし、チャンツや歌のデジタルコンテンツを視聴するときは、字幕がないため、児童は文字を読むことができない。

(3) 総合所見

スモールステップで児童が少しずつ言語材料を習得し、自分の思いや考えを伝えるために表現できるようになるように工夫されている。ただし、伝え合うなどの表現する場面では、教科書に書き込む欄がなく、「〇〇について話しましょう」や「〇〇について伝え合いましょう」といった指示のみなので、指導の際には、「誰に」「相手から聞き取った情報をどうする」など、活動場面を工夫する必要がある。

令和6使用小学校教科用図書研究報告書

教科 外国語	種目 英語						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
15・三省堂		1年	2年	3年	4年	5年	6年
						513 514	613

(1) 内容の特徴及び表現

- ①各単元にチャンツが用意されており、リズムに乗ってくり返し表現を練習することで、基礎基本が定着できるようになっている。チャンツのみではなく、歌も掲載されていれば基礎基本の定着にさらに効果的である。また、既習の表現をくり返し聞いたり話したり読んだり書いたりする活動が工夫されている。しかし、聞き取る内容が児童にとって難しかったり、点で結ぶ問題が多かったりと、基礎基本の定着のための配慮が不足している。
- ②各単元に、学習した表現を使って会話する場面が設定されている。場面や状況に応じて表現する活動があり、思考・判断・表現を伸ばすための工夫がされている。
- ③教科書の二次元コードを使って、家庭でも発音練習ができるようになっている。また、別冊で「Dictionary」が付属しており、児童が伝えたいことを表現できるように工夫されている。さらに、巻末にはアルファベットカードが付属しており、ゲームなどを通して習熟できるようになっている。これらの点は、主体的に学習に取り組むために効果的である。
- ④単元の終わりには、書いたり話したりする技能統合型の活動が設定されており、言語能力を育成するために有効である。
- ⑤自国の文化を発信したり他国の文化を尊重したりする活動が設定されており、その中で自分が住む町の魅力を考える場面もある。これは、玉野市の伝統や文化についての理解を深めることに効果的である。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・5・6年生で使用する付属の辞書には、5年生で学習した表現が掲載されており、下の学年で学習したことが上の学年で生かされるようになっている。
- ・「HOP STEP JUMP」を1単元として、学ぶプロセスが「見える化」するよう配慮されている。しかし、教科書を開いた際に、どのような活動をするのか、どのような表現を習得するのかが分かりにくく、工夫が必要である。
- ・「Panorama」で「大量のインプット」をしてから、「焦点化したインプット」や「アウトプット」につなげるという構成になっている。英語に不慣れな児童にとって、一度に大量のインプットをすることは難しく、効果的ではないと考えられる。

(3) 総合所見

「学びに向かう力、ことばを使う力、考える力、他とかかわろうとする心を育てること」を趣旨として、工夫して編集されている。また、学ぶプロセスを見える化し、〈見通し→習得→活用〉を1単元として構成されている。歌の掲載がなかったり、一対一対応の問題が多かったり、〈習得〉において基礎定着の観点やや不足しているため、指導において配慮が必要である。

令和6使用小学校教科用図書研究報告書

教科 外国語	種目 英語						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
17・教出		1年	2年	3年	4年	5年	6年
						515	615

(1) 内容の特徴及び表現

- ①各單元のはじめに、映像を見て内容を捉える「Let's Watch」や発声を促す「Let's Sing」等が配置されている。「Let's Listen」が複数設定され、話すこと、読むこと、書くことの活動が順に組み込まれている。
- ② 様々な表現方法に接することができるように、「Final Activity」では、ポスターや時間割、地図、パンフレット等、自分で作成したものを示しながら、やりとりや発表、ロールプレイを行う活動が設定されている。
- ③巻末に歌の持つメッセージを鑑賞する「Let's Enjoy the Music」が設けられている。6年生の「知らない英語に出会ったら」では、辞書の使い方を学ぶ発展的な活動が設定されている。
- ④児童に身近なアニメ等の文化、国語で学習した物話等の題材が幅広く扱われている。行きたい場所や食べたい名物等を調査、発表する活動が設定されており、児童の興味関心に合わせた題材を使うことで、主体的に取り組みやすくなっている。
- ⑤5年生の「When is your birthday?」では、世界の子どもたちの生活について知ることができるようになっている。6年生の「Let's Look at the World」では、SDGsに関連する内容が取り上げられている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・各単元は「Let's Watch」「Let's Say It Together」「Let's Listen Activity」等の後に、「Sounds and Letters」「Review」が配列されている。
- ・巻末には、活動で使用するワークシートが綴じ込まれている。
- ・二次元コードが「Let's Watch」「Let's Sing」「Let's Say It Together」「Activity」「Final Activity」に設置され、それぞれにリンクが設定されている。

(3) 総合所見

児童の興味関心に合わせたアニメ等の文化を題材にすることで、主体的に取り組みやすく工夫されている。一方、各単元の始めに目標が提示されているものの、目標達成までの流れが不明瞭である。児童が見通しをもちながら学習を進めていくために指導の工夫が必要である。

令和6年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科 外国語	種目 英語						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
38・光村		1年	2年	3年	4年	5年	6年
						516	616

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 5・6年生全単元において、「Step1」「Step2」「Jump!」の3段階で構成されている。特に「Step1」では基礎基本が身につけられるよう、各単元の内容を重点的に学べるよう配慮されている。
- ② 既習の単元で学んだことが別の単元でも使えるよう課題設定がされており、反復して学ぶことで、自然に知識・技能の定着が図れるようになっている。
- ③ 各単元の始めに「Goal」として本単元で身に付けたいことが明記してあり、学習課題がはっきりしている。シンプルな紙面構成なので各時間の学習課題も明確である。反面、解説や注釈、写真、挿絵が少なめで、英語に不慣れな児童にとってはイメージがもちにくく、一般的に難易度の高い構成となっている。
- ④ 各単元の最後に、「Step1・2」で学んだことを活かして探求活動や会話をするなど、自ら課題設定をしたり表現方法を考えたりするような工夫がなされている。
- ⑤ 各単元の最後にある「Jump!」では、意思決定が必要な課題設定であることが多く、キャリア教育の視点からも自己決定力や課題解決力を高めることに役立つ。しかし、自己決定するためには英語力も必要であるので、難易度の高い構成でもある。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・ 単元の始めに「Goal」が示してあり、教師・児童ともに「何を身につけるのか」「どのようなことについて学ぶのか」が明確にわかる。
- ・ 各単元が「Step1・2」「Jump!」の3段構成で、『基礎、応用、発展・活用』と学びが深まるようにできている。
- ・ 書き込みができるスペースが一般的に少なく、書く活動も設定が少なめである。

(3) 総合所見

一般的にシンプルな構成で挿絵や写真・問題や解説が少なく集中的に学ぶことができる。既習の単元を活用しながら新たな学びができ、各単元の課題も明確で学びやすい構成であるが、その反面、補助的な解説や挿絵・写真が少なく、英語に不慣れな児童にとっては何をしようのか掴みにくい構成になっている。

令和6 使用小学校教科用図書研究報告書

教科 外国語	種目 英語						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
61・啓林館		1年	2年	3年	4年	5年	6年
						517	617

(1) 内容の特徴及び表現

- ①単元の最初のページには、単元のゴールと各ステップのめあてが提示しており、学びの見通しがもてるようになっている。また、どの単元にもチャンツが用意されていて、定着させたい基礎基本の文章や語句を音楽に乗せて聞いたり、話したりすることができ、児童にとって覚えやすいように工夫されている。全ての単元において、学んだ知識技能を使って会話を楽しむことができる活動が用意されている。
- ②どの単元においても児童同士でやり取りをしたり、発表する場面をデジタルコンテンツで視聴したりすることができる。会話をするときには、何に気を付けて相手に伝えたらいいのか事前にデジタルコンテンツを視聴することで、児童自ら考えることができるように工夫されている。
- ③全ての活動にデジタルコンテンツが用意されており、学校外でも発音や内容を確認することができ、児童が主体的に学習に取り組むことができるように工夫がされている。歌やチャンツには字幕がついており、文字を見ながら聞くことができる。また、いくつかの二次元コードはその場面のリスニングだけでなく、使われている単語のチャンツや単語クイズが用意されており、児童が楽しく学ぶ工夫がされている。
- ④教科書に Can-Do-List がついているので、児童はいつでも自分たちで学習到達目標を確認することができ、児童自ら達成状況を把握することで主体的な学びにつながっていくことが期待できる。
- ⑤6年生の単元「Welcome to Japan」で、日本の魅力を伝える活動を通して、日本の良さや他国の文化について知ることができるように工夫されている。また、SDGs について詳しく紹介されているページがあり、国際社会の一員としての自覚を育てるよう配慮されている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・巻末には学習に必要な言葉が種類ごとに分類され、分かりやすく表現されている。
- ・単元ごとに読む活動も用意されており、アルファベットの音を意識して音読練習できるように工夫されている。
- ・絵カードに切り取り線がついているため、切り取って単語学習に使用することができる。ただし、カードが薄く小さいため、紛失したり破れたりする可能性も考慮して活動を計画する必要がある。

(3) 総合所見

イラストの統一性があり、フォントも児童が実際に書くものに近く、書いたり読んだりしやすい。内容や表現及び学習の流れが適切で児童にとっては学習しやすく、指導者にとっては指導しやすいものになっている。一方、巻末に付いているカードが薄く小さいなど、使用には配慮が必要である。